(平成27年度実績)

伊東市

戦略	方策	実施事項	主たる担当課	ページ						
1	「新	しい公共」の伊東市モデルの構築								
	1 市民と協働による「新しい公共」の仕組みの検討									
		① 「新しい公共を考えるフォーラム」等の開催								
		② 伊東市モデル構築のための検討会の開催	市長公室課	1~2						
		③ ソーシャルビジネス(社会的企業)の研究会・研修会の開催	印及五主味	1,02						
		④ 第2次市民参画のまちづくり推進計画の策定								
	2	市民の知恵・民間力を生かすシステムづくり								
		① 市民提案型事業の創出	市長公室課	3~4						
		② 市民提案型の公共サービス民営化制度の構築	行政経営課	5~6						
		③ 市民アドバイザー登録制度の構築	市長公室課・産業課・行政経営課	41~43 に含む						
	3	市民との情報共有化の推進								
		① 市ホームページ、広報いとう等による情報発信の充実・強化	市長公室課・情報政策課	7~11						
		② 情報交換会の開催	市長公室課・行政経営課	12~13						
		③ 市制モニター制度の充実・強化	们及公主际·门以社名际	12,310						
2	2「生産する職員」の育成									
	1 職員として目指すべき方向の提示									
		① 職員を主体にした職員像・行動特性の検討	行政経営課	14~15						
		② 人事管理(育成、採用、昇任・昇格)への活用		14 10						

戦略	方策	実施事項	主たる担当課	ページ
	2	組織・人事管理・給与制度の体系的整理		
		① 人材育成基本方針・職員研修計画の見直し	行政経営課	16~17
		② 職員育成に重点を置いた勤務評価制度の策定	行政経営課	18~19
		③ 人事評価の導入や社会情勢の変化を反映した適時適切な職員給与の見直し	行政経営課	20~21
		④ 人事評価及び職員意向に基づく異動・配置の更なる適正化	行政経営課	18~19 に含む
	3	職員の能力開発機会の充実		
		① 市内企業・団体と協力した職員研修の実施		
		② 知識創造のための外部講師の積極的招へい、自発的研修への支援	行政経営課	22~23
		③ 海外・民間等の研修派遣先の開拓	1 以社占床	22~23
		④ 職種間での交流・研修の積極的実施		
	4	若手・女性職員の積極的登用		
		① 政策立案チームの弾力的編成と若手・女性職員の積極的登用	 	24~25
		② 職員改革提案制度の充実	门以柱凸环	24.323
	5	市民意見をサービス向上につなげる制度の構築		
		① 庁内LANを活用した意見収集・共有化の仕組みの構築	行政経営課·市長公室課 ·情報政策課	26~27
3	成₹	長戦略に基づく政策の再編		
	1	成長戦略の策定と推進		
		① 観光基本計画の策定と合わせた観光交流分野の成長戦略の策定・推進		
		② 新病院等を活用した健康福祉分野の成長戦略の策定・推進	行政経営課・観光課	28~31
		③ コミュニティビジネス等の生活関連分野の成長戦略の策定・推進		

戦略	方策	実施事項	主たる担当課	ページ
	2	観光交流推進機関の強化		
		① 観光交流推進機関の強化に向けた関係団体等の協議・調整の促進		
		② 観光交流に関わる異業種交流の促進	観光課	32~34
		③ 他市町等との広域連携の強化		
	3	健康保養地づくり事業の積極的推進		
		① 健康保養地づくり計画の積極的推進	┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃	35~40
		② 健康保養地づくりの市民提案・活動の活性化に向けた施策の展開	既儿妹"姓冰色凉妹"工准于自味	33.340
	4	起業支援・企業誘致の推進		
		① 市民(企業OB等)の知識・人脈を活用する起業支援、企業誘致の推進	 市長公室課·産業課·行政経営課	41~43
		② 市民アドバイザー登録制度の構築(再掲)	印及五主体 连未体 门或柜占体	41**40
4	市月	民満足度と財政健全化の両立を目指す方策の展開		
	1	ITOシステムの更なる進化		
		① 政策立案・決定に際しての市民ニーズの把握の強化(市民意識調査、満足度調査、広聴等)	行政経営課·市長公室課	44~46
		② 長期的視野での政策仕分けの強化(戦略会議での検討強化、有識者の活用等)	行政経営課	47~48
	2	職員定数の適正化		
		1 業務効率化、民間への業務移管等の推進による職員定数の削減	- 行政経営課 - 行政経営課	49~50
		② 任用替え・職種間交流・技術職の計画的採用等による職員の適正配置の推進	I 첫 따드 다자	73 00
		③ 消防救急広域化の推進	企画指令課	51~52

戦略	方策	実施事項	主たる担当課	ページ						
П	3	職員給与の適正化								
		① 職務体系、人事評価に基づく給与制度の確立	行政経営課	20~21に						
		② 社会情勢の変化を踏まえた適時適切な職員給与の見直し(再掲)	行政経営課	含む						
П	4	民間への業務移管の推進								
		① 民間移管業務の更なる検討、市民提案型の公共サービス民営化制度の構築								
		② 窓口業務の委託化に向けた検討・推進								
		③ 清掃業務(ゴミ収集業務)の委託化に向けた検討・推進 行政経営課・市民課・								
		④ 斎場管理業務の指定管理制度移行に向けた検討・推進	建築住宅課・幼児教育課	53~61						
		その他(住宅使用料徴収業務の委託化)								
		(5) その他(保育園の民営委託)								
	5	長期的視点に立った社会資本の再編・更新								
		(1) 小学校、中学校、幼稚園、保育園の施設配置及び給食施設等のあり方についての検討、方向性の	教育総務課	62~68						
		提示	幼児教育課	69~70						
		② 社会基盤・施設(道路、橋梁、交流・学習施設等)の全体的視点からの効果的・計画的な修繕・更新・再編の推進、長寿命化の取組強化	行政経営課·財政課· 施設所管各課	71~86						
	6	6 市が出資・助成する団体の改革								
		① 活動の目的、内容、財政基盤等の検証	行政経営課	87~88						
		② 支援等の見直し	计以性色标	07.300						

						全	体 計	画			
戦	略	1 「新	しい公共」の伊東市	市モデルの	構築			方	衰	(1) 市民との協働による	っ「新しい公共」の仕組の検討
取組	事項	② 伊東i ③ ソー:	しい公共を考える? 市モデル構築のた& ンャルビジネス(ネ 欠市民参画のまち	めの検討会 社会的企業	÷の開催 ¢)の研究	究会・研修会の開係	崔	所管	果	市長公室課	
事業の	の目的				情築へ向けた検討 の推進のため、市民参画の計画			目的達成 向けた手		・市民との協働(ワーク・協働の場づくりのため	ショップ、委員会等)による計画の策定 の検討
			平成 24 年度			平成 25 年度			7	P成 26 年度	平成 27 年度
全体	計画	→ 検討、策定			計画等に基づく推進・検証		継続的実施		継続的実施	継続的実施	
	年度計画										
	美	施項目	第1四半期	第2四	半期	第3四半期	第 4	四半期			
平成24年度 計画 · 実績	伊東市(伊東に 新画市 東市市	いる共 いる が表 が表 いる が表 が表 が表 が表 が表 が、ま が、ま が、ま が、ま が、ま が、ま が、ま が、ま		グ IPTによる 委員募集 	論点整理 ▶	● ワークショップ 委員会による検記		至作業	• 5	フークショップによる市民 新しい公共推進計画(仮	くり推進計画」(H15.4策定)の検証 民との市民参画等に関する方向性の検討 称)」の策定作業 ロクトチームと市民参画による策定委員
不具	評価 実施 ①計画以上に進捗 ②計画どおり進捗 ③計画より遅れて		り進捗している	未実施		 向けた課題・改善点 応じ、ワークショップ			等を開	引催し、市民の意見を取り入れ	る。

			年度記	計画			中华中南
	実施項目	第1四半期	第2四	9半期	第3四半期	第4四半期	実施内容
平成 25 年度	57. 77		実践 「ワークショップ開催			検証	・24年度に検討した「市民参画・協働の推進のあり方」について実践と検証 ・ワークショップによる市民との市民参画等に関する方向性の検討 ・「新保健福祉施設について」「市民活動を活性化するための中間支援 の強化策について」をテーマにIトーク(市民討議会)実施
一度 度 積	②計画どお	に進捗している らり進捗している 遅れている	未実施		:向けた課題・改善点・ 動団体交流会の実施や		費補助金の周知に努め、市民活動の活性化を図る。
計 平 可	市民団体交流促進 Iトーク(市民 討議会)	交流会等		交流会等	● 交流会等 ● ワークショップ開催	交流会等	・交流・協働の推進、市民活動サポート事業の開催 ・ワークショップによる市民との市民参画協働等に関する方向性の 検討
平成26年度 実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	・市民活		市民活動団体対象	の補助金の周知に努め、市民活動の活性化を図る。
計	市民団体交流促進		意	見交換会	意見交換会	講習会	・いとう市民活動支援センターの機能を市政戦略課へ移転すること に伴い、伊東市と市民活動団体の意見交換会を開催した。(年2回) ・市民活動団体の人材育成を目的とした講習会を開催した。(年1回)
平成27年度計画・実績	討議会) 評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	を ことで課題やニーズを把握し、解決策を検討す ・Iトークテーマの掘り起しに努め、市民の声を		活動支援センターの し、解決策を検討す に努め、市民の声を	・I トークに関する実施希望テーマがなかったため、未実施となった。 D機能を市政戦略課に移転することに伴い、直接市職員が市民活動団体と接する ることで市民活動の活性化を図る。 反映した計画策定や施策立案に活用できるよう各課(局)に周知する。 画の策定については、すでに平成24年度に策定済のため、②計画通り進捗して

					全(本 計 画				
戦	略	1 「新	しい公共」の伊東i	市モデルの構築		方:	策	(2) 市民の知恵・民間力を生かすシステムづくり		
取組	取組事項 ① 市民提案型事業の創出						課	市長公室課		
事業の	の目的	に向け、		の提案を募集する。	2える身近な問題の何	解決 目的達 成 向けた手				
			平成 24 年度		平成 25 年度		Σ	P成 26 年度	平成 27 年度	
全体	計画	いとう創	造大賞の募集・表記	検証・調	検証・調査に基づく改善・実施 →		施		継続実施 →	
	_								<u></u>	
				年度計画					宝饰内突	
	実	施項目	第1四半期	年度計画 第2四半期	第3四半期	第4四半期			実施内容	
二十二		施項目 創造大賞	第1四半期			第4四半期 ● 提案事業 発表 の実施		民提案型事業「いとう創造・24 年度は、いとう8 K の ・①夢部門と②実現部門の ・書類審査・1月10日(造大賞」の実施 の「子育て」を募集 02部門の募集	
平成 24 年度 計画 · 実績	いとう		第 1 四半期	第2四半期		● 提案事業		・24年度は、いとう8KG・①夢部門と②実現部門の	生大賞」の実施 の「子育て」を募集 02部門の募集 いとうの日)の提案者によるプレゼンテ	

			年度計	·画				中作力态
	実施項目	第1四半期	第2四	半期 第	第3四半期	第4四	半期	実施内容
平成 25 年度	いとう創造大賞	実施計画等検討	→ -	■ ● ■ とりま	▶	● 発表 追	● 態捗確認	市民提案型事業「いとう創造大賞」の実施 ・25年度は、いとう8Kの「観光」をテーマに募集 (提案人数77人、提案件数96件) ・事前審査を経て、1月10日にプレゼンを実施し、大賞の決定・表彰 ①夢部門、②実現部門の2部門で表彰 ・優秀提案の事業化(観光課)
年 実 積		に進捗している 3り進捗している 遅れている	未実施		た課題・改善点 事業化を目指し、		-	ナ早めの対応を図る。
平成 26 年度	いとう創造大賞		→ -	→ !案募集 とりま	▶をめ・事前審査	● 発表 ;	€捗確認	市民提案型事業「いとう創造大賞」の実施 ・26年度は、いとう8Kの「健康」をテーマに、 市政への協働事業を募集(提案人数23人、提案件数32件) ・事前審査を経て、1月14日にプレゼンを実施し、大賞の決定・表彰 ①夢部門、②実現部門の2部門で表彰 ・優秀提案の事業化(健康医療課)
年 実 積	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施		た課題・改善点 の事業化を目指		_	業担当課と十分な調整ができるように早めの対応を図る。
平成 27 年度	いとう創造大賞	———▶ - 実施計画等検討	提案募集	とりまとめ・事情	● 前審査 発表	●進捗確認	2	市民提案型事業「いとう創造大賞」の実施 ・27年度は、いとう8Kの「経済対策」をテーマに実施時期を早め、市政への協働事業を募集(提案人数20人、提案件数26件)・事前審査を経て、11月20日にプレゼンを実施し、大賞の決定・表彰(①夢部門、②実現部門の2部門で表彰)・優秀提案の事業化(社会福祉課及び産業課)
年度実績		に進捗している 3り進捗している 遅れている	未実施		た課題・改善点 政・関係団体が		· =	秀提案の事業化に向けて調整を図るとともに、進捗状況の把握に努める。

						全	体言	十 画				
戦	略	1 「新しい	ハ公共」の伊東市	モデルの	構築			方 第	ᄱ	(2)市民の知恵・民間力を生かすシステムづくり		
取組	取組事項 ②市民提案型の公共サービス民営化制度の構築							所管課 行政経営課				
事業の	・市民等との協働による「新しい公共」の推進 ・公共における民間と行政の役割分担の見直し ・民間活力を活かすことによる公共サービスの提供								目的達成に 向けた手段 ・市の行っている事務事業を対象に、市民等から委託 提案を募集するための制度構築			
			平成 24 年度		平成 25 年度			平成		平成 26 年度	平成 27 年度	
全体	計画	調査・研究 			制度の検討・構築作業 →			モデル事業の検討・実施 			実施	
				年度	計画							
	実	施項目	第1四半期	第2	四半期	第3四半期	第4	4四半期			実施内容	
=+	調査・研究 − 先進事例等、制度の調査・研究 − − − − − − − − − − − − − − − − − − −					・先進事例等の情報収集及び調査研究			調査研究			
計 平 画 成 24 •		句性の ├・決定				制度構築に向けた	方向性	の検討	• ##	調査・研究の結果を踏まえ	、制度構築に向けた方向性の検討	
平成24年度 計画・実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている			・新たな	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・新たな公共の担い手となる、NPO法人、市民活動匠・民間提案を引き出すインセンティブの工夫の仕方等、					者等との情報共有の場が必要		

			年度	计画			中长九帝	
	実施項目	第1四半期	第2四	9半期	第3四半期	第4四半期	· 実施内容	
	制度の検討	他市の動向・先進事例等の情報 		青報収集	報収集		似去の動力。 化准束原数の标和原体、 泗木河空	
平成 25 年度 計画 · 実績	構築作業				制度構築に向けたモデル事業の検討		・他市の動向・先進事例等の情報収集、調査研究	
年 .	評価			次年度に	向けた課題・改善点	・修正事項等		
度実	実施 ①計画以上	に進捗している	未実施	・新たな	公共の担い手育成(N	NPO法人、市民活	動団体、ボランティア等)の推進や中間支援の強化	
дуя .		り進捗している 遅れている		・制度の	持続性・安定性の確保	K		
	モデル事業の 検討・実施	他市の動向・先進	 事例等の情 				ルナの私力 先光素が飲みを担切在 3mまTTが	
平成 26 年度 計画 · 実績				制度構築に向けたモデル事業の検討		デル事業の検討 ・デル事業の検 計	・他市の動向・先進事例等の情報収集、調査研究	
年 .	評価			次年度に	向けた課題・改善点・	修正事項等		
度 実	実施 ①計画以上	に進捗している	未実施	・新たな	公共の担い手育成(N	I P O 法人、市民活	動団体、ボランティア等)の推進や中間支援の強化	
dær.	l <u> </u>	り進捗している 遅れている		• 民間提	案を引き出すインセン	ッティブの工夫の仕 <u>だ</u>	方等、ノウハウを含め行政と民間業者等との情報共有の場が必要	
	モデル事業の 検討・実施	他市の動向・先	L 选事例等 <i>0</i> L	情報収集			・他市の動向・先進事例等の情報収集、調査研究	
平成 27 年度 計画 · 実績	モデル事業の 予算化				制度構築に向けたる	Eデル事業の検討 	· 他用♥/動用・几座事例寻♥/用報収来、調重明/L	
27 -	評価			次年度に	向けた課題・改善点・	修正事項等		
度実		に進捗している	未実施				った。市民提案型民営化制度については、いとう創造大賞事業との連携も視野に	
積 	②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		不	入れ、	引き続き研究は進めて	こいきたい。		

					全	体 計 画							
戦	略	1「新しい	N公共」の伊東市モデA	の構築		方	策	(3)市民との情報共有化の	(3)市民との情報共有化の推進				
取組	事項	①市ホーム	ページ、広報いとう等	による情報	発信の充実・強化	所領	課	情報政策課・市長公室課					
事業0	D目的		ページ、広報いとう等 り「市民との情報共有		よる情報発信の充実・強化を図る 」を推進する。 同			・より多くの職員が、市 に操作等の研修を実施 ・ホームページの内容で ・広報マネジメント力の	をする。 チェック、充実 ^を	と更新できるよう職員向け を図るための組織構築			
		3	平成 24 年度		平成 25 年度			平成 26 年度		平成 27 年度			
		新ホームペ 機能等検討		職員研修	: ▶	職員	員研修 		職員研修	新ホームページの検討 			
全体	計画	→ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ホームペ	ホームページ内容検討・充実		ホームページ内容検討・充		ホームペー	ジ内容検討・充実			
		広報いと	うの内容検討・充実	広報いと	こうの内容検討・充実	— 大	吸いとう	の内容検討・充実	広報いとう	の内容検討・充実			
		広報職員研	修 ● 市民アンケート ●		市民アンケート	•		市民アンケート		市民アンケート			
			车	度計画					実施内容				
	実加	を項目	第1四半期 第	2四半期	第3四半期	第4四半期	-		大旭門				
計画	内容 ホー <i>』</i>	ムページ 等検討 ムページ 員研修	新ホームページの[7容等検討 →		新ホームペー 稼働開始 ● 職員研修	•	「伊東市インターネットホームページ作成部会」を通じ、現ホーページに関する改善点要望を集約 新ホームページのデザイン、機能等を検討 新ホームページは平成25年4月に稼働開始することとした。					
平 崮 成 24 ·		いとう	 広報いとうの内容等様	金討 (広報担当	│────── 泊者会議、2か月に一度	 5開催)							
在		等検討	MATRIC C 707711 (1)	(A) (A)		市民アンケート(世界の一 ブロル		た分かりやすい広報づくりに努めた。				
度績	実施	_	こ進捗している 未実 り進捗している 星れている		次年度に向けた課題・改善点・修正事項等別紙参照								

			年度計画			
	実施項目	第1四半期	第2四半	第3四半期	第4四半期	- 実施内容
	ホームページ 活用・充実	新ホームページ 稼働開始	ホーム	ページの活用・充実	-	 4月1日に新ホームページを稼働 ホームページ職員研修を5月に実施(人員=56人)。 「伊東市インターネットホームページ作成部会」を通じた、ホーム
計平画	ホームページ職員研修	職員研修				ページの活用・充実(2回開催) ・「広報担当者会議」を通じた広報に関する改善(6回開催)
25 •	広報いとう内容・	広報いとうの内 	容等検討(広報	担当者会議、2か月に一度	度開催)	・市民からの意見を取り入れ、ニーズに沿った広報紙の作成に努めた。
平成 25 年度 実績	フェイスブックの 活用等検討			市民アンケート		・フェイスブックの活用についての検討
		に進捗している り進捗している 遅れている		年度に向けた課題・改善点紙参照	・修止事項等	
	ホームページ 活用・充実		ホームペ	ージの活用・充実	-	・伊東八景、季節のイベント等の写真をホームページのトップページバナーに掲載し情報発信の充実を図った。
計平画	ホームページ 職員研修 職員研修					・ホームページ職員研修の実施。・「伊東市インターネットホームページ作成部会」を通じた、ホームページの活用・充実。
平成 26 年度 事	広報いとう内容・ フェイスブックの 活用等検討	広報いとうの	 		 使開催) ● 意見回収 (クイズ時)	・「広報担当者会議」を通じた、広報に関する改善。 ・フェイスブックの活用等の検討 ・市民からの意見を取り入れた、ニーズに沿った広報紙の作成。
गुज्	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている			年 度に向けた課題・改善点 紙参照	· 修正事項等	

	ホームページ 活用・充実		ホームページの活用・充実					・ホームページのトップページバナーに「未来協知」、「伊東八景の		
計 平 咸 27 ·	ホームページ 職員研修	職員研修						写真」、「イベント情報」等を掲載 ・ホームページ職員研修を5月に実施(人員=38人) ・「伊東市インターネットホームページ作成部会」を通じたームページの活用・充実		
27 · 年度 績	広報いとう内容・ フェイスブックの 活用等検討	広報いとうの内	 容等検討(広報担当者会議、2 		者会議、2か月に一度 	· 開催) ●	意見回収 (クイズ時)	・「広報担当者会議」等を通じ、広報に関して改善に努めた。 ・イベント告知等、フェイスブックを毎日更新した。 ・市民ニーズに合わせ、写真を増やした広報紙を作成した。		
	評価			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等						
	実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている			別紙参照	Transition of the state of the					

伊東市公共経営改革大綱 実施概要 (別紙 実績)

	実施項目		実績
	新ホームページ 内容等検討	評 価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 情報政策課 ・意見箱等の新機能の開発に予定より時間を要したため、新ホームページの稼働時期が平成25年1月から平成
平成24年度 実績	ホームページ 職員研修	②計画どおり進捗している ③計画より遅れている	25年4月に変更となり、3月に新ホームページの操作研修を職員46人に対し実施した。平成25年度は、操作研修未受講の職員を対象に研修を実施し、ホームページを更新できる職員数の拡大を図っていく。
年実績	広報いとう 内容等検討	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 市長公室課 ・広報担当者会議で集約した意見を、今後の「広報いとう」作成に反映させ、更に分かりやすい広報づくりに努めた。 ・さらなる情報発信ツールとして、フェイスブックの活用について検討
	ホームページ 活用・充実	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 情報政策課 ・ホームページのトップページバナーに「未来協知」に関する周知文を掲載する。
平成25年度	ホームページ 職員研修	②計画どおり進捗している ③計画より遅れている	 ホームページのトップページに配置している「緊急情報」の掲載基準等について、担当課(危機対策課)と協議を行う。 ・ホームページのトップページに「よくある質問コーナー(仮称)」を開設する。
年度積	広報いとう内容・ フェイスブックの 活用等検討	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 市長公室課 ・市民や広報担当者会議の意見を、今後の「広報いとう」作成に反映させ、更に分かりやすい広報づくりに努めた。 ・フェイスブックの更なる有効活用のため、運用方法等を再検討

伊東市公共経営改革大綱 実施概要 (別紙 実績)

	実施項目	実績
計平画	新ホームページ 内容等検討	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 評価 情報政策課 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ・ホームページ操作研修の対象を「インターネットホームページ作成部会員」以外の職員にも拡大し、ホームージを更新できる職員数の拡大を図っていく。
平成 26 年度 計画 · 実績	ポームページ 職員研修	・平成27年3月に開設したホームページトップページの「よくある質問 (Q&A)」の内容充実を図っている
度実績	広報いとう 内容等検討	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 市長公室課 ・市民や広報担当者の意見を、今後の「広報いとう」に反映し、更にわかりやすい広報紙づくりに努める。
	ホームページ 活用・充実	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 情報政策課 ・各課公開ページの充実及び更新頻度を高め、わかりやすいホームページ作成を図っていく。 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ・ホームページ操作研修の対象を全職員対象とし、ホームページを更新できる職員数の拡大を図っていく。
平成 27 年度 集積	ホームページ 職員研修	②計画どおり進捗している ③計画より遅れている
積	広報いとう内容・ フェイスブックの 活用等検討	評価次年度に向けた課題・改善点・修正事項等実施①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている未実施 ・市民の意見を「広報いとう」に反映し、わかりやすさの向上と興味を持って読んでもらえるような広報紙づりに努める。 ・フェイスブックの更なる有効活用のため、運用方法を改善する。

						全	体 計	一画					
戦	略	1 「新	しい公共」の伊東	東市モデルの	の構築			方 第	後 (3) 市民との情報共	有化の推進			
取組	事項	_	会・情報交換会の モニター制度の充					所管認	市長公室課、行政経	市長公室課、行政経営課			
事業の	の目的	動向を		れを市政に	2反映させ	引くことにより、世 けるとともに、市 を図る。			・新しい公共の伊東市モデル構築のための検討を通じ、情化(公聴会・情報交換会のあり方等)を検討する。 ・市政モニター会議として、市長との市政モニターとの直による公聴機会となる市政モニター会議を開催する。				
			平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度	平成 27 年度			
全体	計画	モニター	会議(年4回)の	→)開催 モ	ニター会	会議開催			継続実施 継続実施				
		情報共有個	化方策の検討	検	食討に基づく方策の実施 								
	宝	施項目	第1四半期	年度記 第2四		第3四半期	笙 /	1四半期		実施内容			
		16-X LI	# TEI TWI	#12E	-1 -1 20 1	9,0 □ 1,3 0	33	•					
		一会議等	開催	開催開催·施設見学			開催						
		開催	₹ニター募集 ₹ニターù	通信の各課	Rへの照会・モニターへの回答、市民へ		市民へ	の公表	ナルエーカー 入業の問	大小,			
平成 24 年度	情報共 の (新し 伊東市	有化方策検討い公共の		-	ワークショップ開催		•	・市政モニター会議の開催(年4回会議、年1回施設見学) モニター通信回答22件					
年 実 績	討の中	で検討)		市民委員	募集	委員会による	検討	ŕ					
小 具	評価				次年度に向けた課題・改善点・修正			項等					
	実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている			未実施	市政モニ	ター制度の充実・強化	化策を検	討する。					

			年度記	計画			由推步南		
	実施項目	第1四半期	第2四	9半期	第3四半期	第4四半期	- 実施内容		
	モニター会議等 の開催	開催	開作		開催・施設見学	開催	・市政モニター会議の開催(年4回会議、年1回施設見学)		
平成 25 年度	情報共有化方策の 検討(新しい公共 の伊東市モデル検	モ=ター募集	₹=ター通信の → ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の各課への照会・モニターへの回答、市民への公表 ワーク・ショップ開催		天への公表	・市政モニター制度の充実・強化策を検討 モニター通信回答23件		
年度積	②計画どお	に進捗している 3り進捗している 遅れている	未実施	次年度に	委員会検討による 向けた課題・改善点・ ニター制度の充実・3		ともに、活発な意見交換ができる環境づくりに努める。		
計平画成	モニター会議等 の開催	開催 ₹=9−募集	用· モニター通信の		● 開催・施設見学 開催・施設見学	● 開催 民への公表	・市政モニター会議の開催(年4回会議、年1回施設見学) ・市政モニター制度の充実・強化策を検討 モニター通信回答8件		
平成 26 年度 画 · 実績	評価 実施 ①計画以上 ②計画どお ③計画より	未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・市政モニターからの意見等に対して、速やかな回答、対応をするように努める。 ・市政モニター制度の充実・強化策を検討するとともに、活発な意見交換ができる環境づくりに努める。						
計平画成	モニター会議等 の開催 モニター募集				● 開催・施設見学 発会・モニターへの回答、市	● 開催 ★ 民への公表	・市政モニター会議の開催(年4回、うち1回施設見学) ・市政モニター制度の充実・強化を検討 ・モニター通信回答3件		
平成27 年度 画 · 実績	評価 実施 ①計画以上 ②計画どお ③計画より	未実施	・市政モ						

						全位	k i	十 画				
戦	略	2 「生産	する職員」の育成					方 第	专	(1)職員として目指すべき	方向の提示	
取組	事項		主体にした職員像 理(育成、採用、			舌用		所管認	果	行政経営課		
事業の	の目的	・人材育成基本方針に定める「生産する職員」の「職員像」及び「食力」の具体化							目的達成に			
			平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度			平成 26 年度	平成 27 年度		
全体	計画	委員会での検討・決定 ●────────────────────────────────────			人事評価における活用 ●────			•		継続実施	継続実施 ◆	
				度計画	†画					co the chaice		
		施項目	第1四半期	第2	2四半期	第3四半期	第	4四半期	— 実施内容 —			
=1	生産する職員の 職員像・能力に 関する検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								・伊東市として求める職員像の具体化			
平成 24 年度	人材育 針への	育成基本方 の反映			人材育成基 ●	材育成基 本方針の検討・決定 ▶			• 耳	・職員像の実現を目指す「人材育成基本方針」を策定		
年度積	評価 実施	②計画どお	に進捗している らり進捗している 遅れている	・人材育 基本指	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・人材育成基本方針等検討委員会を設置し、計 10 回に及ぶ会議を経て、市職員としての「職員像」を明確化し、「人材育成・活用基本指針」を策定した。 ・今後は、基本指針に沿った研修計画を立て、実施していくことにより、生産する職員を育成していく。							

			年度	計画			中长小帝			
	実施項目	第1四半期	第2四	9半期	第3四半期	第4四半期	実施内容			
	生産する職員の 育成に向けた研 修	●研修計画立案	研修実績	施	-		・人材育成・活用基本指針に基づき、生産する職員の育成に向けた			
平成 25 年度	人事管理制度に よる人材育成と 活用		●異動希]	望調書	●10 月人事異動 (適正配置)	研修の実施 (教え合い塾) ・職員の適正、能力及び希望を考慮した職員配置の実施				
年度積	②計画どお	ニに進捗している おり進捗している J遅れている	未実施	・生産す	- 向けた課題・改善点 - る職員の育成に向けか いた職員による行政運営	こ効果的な研修の計	画 適材適所の配置を進める。			
	生産する職員の 育成に向けた研 ●研修計画立案 修		研修実績	施			・人材育成・活用基本指針に基づき、生産する職員の育成に向けた 研修の実施(未来づくり研修・教え合い塾)			
平成 26 年度	人事管理制度に よる人材育成と 活用		●異動希]	動希望調書						
年度積	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・生産する職員の育成に向け、特別研修制度を利用した自学を勧める。 ・限られた職員による行政運営が可能となるよう適材適所の配置を進める。						
	生産する職員の 育成に向けた研 ●研修計画立案		研修実	施			・人材育成・活用基本指針に基づき、生産する職員の育成に向けた			
平成 27 · 実	人事管理制度に よる人材育成と 活用		●異動希	●異動希望調書 ●10 月人事異動 (適正配置) 4 月人事異動			- 研修の実施(未来づくり研修) ・職員の適正、能力及び希望を考慮した職員配置の実施			
年度積	評価 実施 ①計画以上 ②計画どま ③計画より	未実施	生産す限られ	れた職員による行政運	春点・修正事項等 可け、特別研修制度を利用した自学を勧める。 対運営が可能となるよう適材適所の配置を進める。 ↑の見直し検討(「女性の職場における活躍を推進する」機会を充実させる等の記載追加)					

						全	体言	十 画					
戦	略	2 「生産	する職員」の育成					方 贫	使	(2)組織・人事管理・給与	制度の体系的整理		
取組	事項	①人材育	成基本方針・職員	研修計画	の見直し			所管部	果	行政経営課			
事業の	の目的		育成基本方針」は平 育成基本方針」に基					目的達成 向けた手		to the common and the common terms of the comm			
		平成 24 年度				平成 25 年度			7	- 平成 26 年度	平成 27 年度		
全体	計画	人材育成基本方針 研修計画の策定 ● →			人材育成期補方針 研修計画に基づき実施 ●			•		継続実施	継続実施 ◆		
				年度	計画						実施内容		
	実力	施項目	第1四半期	第2	2四半期 第3四半期		第	第4四半期			关		
ᆂᆚ	人材育 針(成基本方 の策定	委員会の設置 ● →	検討 ●	決:		決定			「人材育成基本方針」の策定			
平成 24 · 実 24	研修計	画の企画				次年度研修計画の ●	策定		・当年度の研修内容や予算状況を踏まえ、次年度の研修を企画				
年史	評価				次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				I				
度実績	実施	実施 ①計画以上に進捗している 未記②計画どおり進捗している 3計画より遅れている			・研修の効果測定を行い、実状に合わせた計画を企画する。								

			年度記	画			中性小袋		
	実施項目	第1四半期	第2匹	半期	第3四半期	第4四半期	- 実施内容		
	研修計画の実施	•	研修計画は	こ基づき	実施	-	・当年度の研修状況を踏まえ、次年度の研修を企画		
平画成	研修計画の企画				次年度研修計画の	策定	(未来づくり研修)		
平成25年度		に進捗している り進捗している 遅れている	未実施		 向けた課題・改善点 が求める能力を把握		企画、実施する。		
	研修計画の実施	•	研修計画は	こ基づき	実施	•			
平画成	研修計画の企画				- ・当年度の研修状況を踏まえ、次年度の研修を企画				
平成 26 年度 画 · 実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・研修受講生のアンケート結果に基づき、職員の求める研修を企画、実施する。 ・階層別研修の一部を他市との合同で実施することで、経費の削減及び他市職員との交流を図る。					
	研修計画の実施 研修計画の企画		研修計画に基づき		実施	-	・当年度の研修状況を踏まえ、次年度の研修を企画		
平画成				次年度研修計画の 策定 ●		策定	・熱海市との合同研修を試験的に実施 (熱海市・伊東市各1回実施)		
平成27 年度 画 · 実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	• 研修受		果に基づき、職員 <i>の</i> 熱海市・伊東市合同	」 戦員の求める研修を企画、実施する。 5合同研修」を本格的に拡大実施することで、経費の削減及び他市職員との交流を図		

						全	体言	十 画					
戦	略	2 「生産	する職員」の育成					方 策	臣	(2)組織・人事管理・給与制度の体系的整理			
取組	事項		成に重点を置いた 面及び職員意向に。					所管調	#	行政経営課			
事業(D目的	人事評価・職員の	画制度の策定 画制度導入による 業務に対するモチ・ 仕事力アップによっ	ベーショ	ン向上			目的達成の向けた手	・				
			平成 24 年度			平成 25 年度		平成 26 年度			平成 27 年度		
全体	計画	人事詞	平価制度の検討・策定	試行実施(管理職)			本格		§実施(管理職)	本格実施、運用(管理職)			
					─				試行到	実施(管理職以外)	本格実施(管理職以外)		
				年度	計画								
	実力	布項目	第1四半期	第2日	四半期	第3四半期	第4	4 四半期					
平成 24 · 実		価制度の ・策定			定に向けた。	Eに向けた検討 要綱 制 変の検討 策定 居			・人事評価制度の策定に向けた検討、職員への周知 ・人事評価制度実施要綱の策定に向けた検討、評価者研修の実施				
24 •	評価	_			次年度に	向けた課題・改善点	• 修正事	項等					
度実績	実施	_ ①計画以上	に進捗している	未実施	• 人材育	成基本方針等検討委	員会にお	いて、「人材	育成:	支援システム」を策定できたも	ものの、職員組合との間で導入に向けた合意		
績		②計画どおり進捗している が得られていない。(管理監督者						可けの「部下育成力向上研修」を実施済) 					
		③計画より	遅れている		今後は	・今後は、合意に向けて職員組合との協議を継続し、合意がされ次第、管理職等から試験的に実施していきたい。							

			年度記	画			te tir ch siz
	実施項目	第1四半期	第2匹	半期	第3四半期	第4四半期	· 実施内容
計平画成	人材育成支援システム要綱策定 同システムの試 行実施		要綱 周領	周知 研修 ● ●			・人材育成支援システム導入に向けた検討、組合との調整
平成 25 年度 実績	②計画どお	に進捗している り進捗している 遅れている	未実施	・人材育	に向けた課題・改善点 「成支援システム導入に 「導入ができるよう、耶	こ向け、職員組合と	継続的に協議を進めてきたが、合意には至らなかった。 協議していく。
計平成	人材育成支援シ ステム要綱策定 同システムの試 行実施		要綱 周短	 知 研修		-	・人材育成支援システム導入に向けた検討、組合との調整
平成 26 年度 記画 · 実績	②計画どお	に進捗している 3り進捗している 遅れている	未実施	・人材育 く。	こ向けた課題・改善点 育成支援システム導入 組合と合意に至り次第	に向け、職員組合と	継続的に協議を進めてきたが、合意には至らなかったため、引き続き協議していいく。
計平画	人材育成支援シ 周知 研修 ステム試行実施 ● ●		管理職等試行実施 ●			•	・人材育成支援システム試行実施にむけた組合との調整及び職員へ の周知、評価者研修の実施 ・管理職等における試行実施
平成 27 年度 27 年度	評価 実施 ①計画以上 ②計画どお ③計画より	未実施	・職員党 な導力 人材育 ・評価で	入を図るとともに、次 育成に資する制度設計	、本庁勤務で、課長 年度以降も、職員か とするため、随時改 としているが、平成	補佐職以上の職員を対象とした研修を次年度6月に実施の上、同システムの円滑 らの意向や職員労働組合との継続協議を踏まえつつ、地方公務員法改正の趣旨や 善を図る。 28年度から平成32年度を取組期間とする新たな伊東市公共経営改革大綱に基づ	

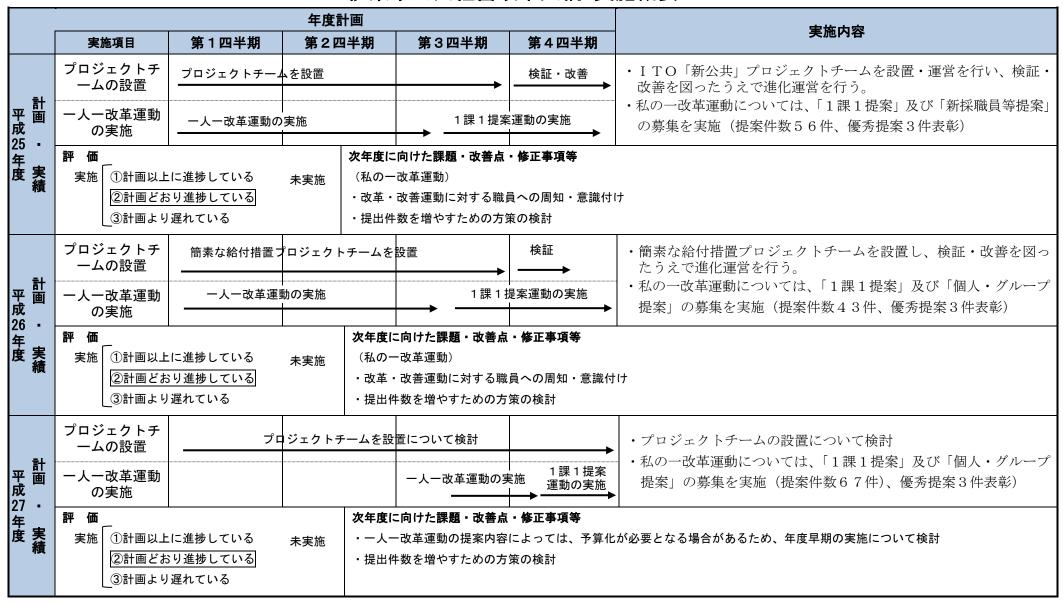
						全	体言	十画				
戦	略	2 「生産	する職員」の育成					方 第		(2)組織・人事管理・給与	制度の体系的整理	
取組	事項	③人事評価の導入や社会情勢の変化を反映した適時適切な職員給与 の見直し							ŧ	行政経営課		
事業0	事業の目的 ・職員給与の適正化								成に 手段 ・給料表及び諸手当の見直し作業			
		平成 24 年度				平成 25 年度				平成 26 年度	平成 27 年度	
全体	計画	給料表等見直し作業 →				継続実施 ────────────────────────────────────			継続実施 継続実施 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●			
				年度				宇施内容			実施内容	
	実	施項目	第1四半期	第21	四半期	第3四半期	第一	4四半期			7,5r.1	
平成 24 年度		及び諸手 見直し		給料表・ の見直し	~ // · // · // ·			・給料表及び諸手当の適正化に向けた見直し作			に向けた見直し作業	
24 · 年	評価	_			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等							
度実績	実施		に進捗している	未実施						のの、合意には至らなかった		
小 貝		②計画どおり進捗している ③計画より遅れている			・引き続き、合意ができるよう継続して協議を進め、25年度に給与条例が改正できるよう取り組む。					っよう取り組む。 		
		(3)計画より	進れている									

			年度記	計画			中长小壶
	実施項目	第1四半期	第2四	9半期	第3四半期	第4四半期	· 実施内容
計画 ・ 実	給料表及び諸手 当の見直し	給料表見直し作業●	-	条例改正		新給料表適用	・給料表の適正化に向けた見直し作業 ・給料表の改正条例を平成 25 年 9 月議会にて可決。平成 26 年 1 月より新給料表を適用 ・管理職手当の定額化
年 実 績	②計画どま	に進捗している らり進捗している 遅れている	未実施		向けた課題・改善点 の適正化に向けた見	• 修正事項等 直し作業を進めてい	< 。
計 画 成 26	諸手当の見直し	諸手当見直し作業 ●				-	・諸手当の適正化に向けた見直し作業を実施
平成26 年度 画 · 実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施		: 向けた課題・改善点 の適正化に向けた見	ス・修正事項等 見直し作業を進めてい	\<.
計平画成	給料表及び諸手 当の見直し	給料表及び諸手当見直し作業 ●			◆ 条例改正	●条例改正 (新給料表適用)	・給料表の適正化に向けた見直し作業 ・給料表の改正条例を平成 27 年 12 月議会及び平成 28 年 3 月にて可 決。平成 28 年 2 月より新給料表を適用
平成 27 年度 :画 · 実績	評価 実施 ①計画以上 ②計画どよ ③計画より	未実施		: 向けた課題・改善点 :及び諸手当の適正化	ス・修正事項等 にに向けた見直し作業	を進めていく。	

						全	体計	十 画				
戦	略	2「生産っ	する職員」の育成					方 第	阿	(3)職員の能力開発機会の	充実	
取組	事項	②知識創造 ③海外・B	業・団体と協力した 造のための外部講館 民間等の研修派遣が での交流・研修の私	市の積極的 中の開拓	積極的招へい、自発的研修への支援 開拓				#	行政経営課		
事業の	事業の目的 従来の研修に加え、新たな研修を通じ「生産する職員」の育成を目指す。								成に ・職員の自発的研修機会となるいとう創造塾の開催 ・①~④による多様な研修機会の提供			
			平成 24 年度			平成 25 年度			7	平成 26 年度	平成 27 年度	
全体	計画	いとうタ	割造塾・教え合い塾の)企画 未	未来協知塾・教え合い塾の開催			継続実施 ◆			継続実施	
		● 新たな研修派遣先の調査研究 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●			巻 継続実施・検証 ●			•		継続実施	継続実施	
				年度	計画						実施内容	
		施項目	第1四半期	第2日	四半期	第3四半期	第4	4四半期			天旭内 谷	
	いとう創造塾 教え合い塾の 企画立案 株計			検討 ●		決定		教え合い塾」の企画・立刻 外部講師の招へい・自発的	え合い塾」の企画・立案 『講師の招へい・自発的研修の支援			
平成 24 年度 24 年度	新たな	との研修 派遣先の 開拓	派遣先の 新た		な派直先の調査研究		次年月の確定	き研修派遣 ・海外・民間への派遣の検討 ・市内企業・団体・異業種間の交流・				
年 _	評価				次年度に向けた課題・改善点・修正事			<u>▶</u> 」 耳項等				
度 実	実施	①計画以上	に進捗している	未実施				受講者の要望	を取	り入れていく。		
		②計画どおり進捗している ③計画より遅れている			・異業種への派遣研修は、今後も調査研究が必要。							

			年度記	計画		Elektrich ste		
	実施項目	第1四半期	第2四	3半期 第3四半期	第4四半期	- 実施内容 -		
	未来協知塾 教え合い塾の 開催		計画	開催	•	・「未来づくり研修」の企画・立案 ・「教え合い塾」やマネジメント研修の開催		
平成 25 年度	異業種との研修 新たな派遣先の 開拓		派遣先の	調査研究	-	・海外、民間企業への派遣の検討(JC主催洋上研修船へ職員を派遣。 海外寄港地活動や民間との交流を推進) ・市内企業・団体・異業種間の交流・研修について調査研究		
年度積	②計画どお	に進捗している らり進捗している 遅れている	未実施	次年度に向けた課題・改善点 ・「教え合い塾」は受講生の記 ・異業種への派遣研修は、引	評価が高く、継続して	 実施する中で職員への周知を図っていく。		
計画成	未来づくり研修 教え合い塾の 開催 異業種との研修 新たな派遣先の 開拓	未来づくり研修	教え合い	-	教え合い塾▶	・「未来づくり研修」の実施・「教え合い塾」の開催・海外、民間企業への派遣の検討・市内企業・団体・異業種間の交流・研修について調査研究		
平成26 年度 画 · 実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	次年度に向けた課題・改善点 ・「未来づくり研修」は受講 ・異業種への派遣研修は、引	生の負担が多大であ	ったため、短期間で効果的な講義内容の研修を検討する。 :実施していく。		
	未来づくり研修 教え合い塾の 開催				未来づくり研修	・「未来づくり研修」の実施 ・海外、民間企業への派遣の検討		
平画成	異業種との研修 新たな派遣先の 開拓	•	派遣先の	調査研究	-	・市内企業・団体・異業種間の交流・研修について調査研究		
平成 27 年度 :画 · 実績	評価 実施 ①計画以上 ②計画どま	評 価		次年度に向けた課題・改善点 ・未来づくり研修は、昨年度 の研修内容を検討していく ・異業種への派遣研修は、引	きの反省を活かし短期 、。			

						全	体言	十画					
戦	略	2「生産	する職員」の育成					方 策	Į.	(4)若手・女性職員の積極	的登用		
取組	事項		案チームの弾力的 革提案制度の充実	編成と君	手手・女性耶	戦員の積極的登用		所管調	所管課 行政経営課				
事業の	*若手職員の政策形成能力の向上や意識啓発 * 職員の能力開発機会の充実 * 職員の提案活動の推進により、職員自らが想像力の向上や改革意識の高揚									・若手職員による、部局横断的なプロジェクトチーム(PT)を構成し、迅速な調査・研究及び円滑な処理を行なう。 ・「私の一改革運動」の実施			
			平成 24 年度		:	平成 25 年度			7	平成 26 年度	平成 27 年度		
Δ#	-=L 1351	(プロジェクトチームによる検討) 試験的設置・運営 			検証・進化運営 			検証・進化運営			検証・進化運営 		
王神	計画	 (一人一改革運動の実施)											
		仕組みの検討 新しい仕組みで募集			検証・実施 				;	検証・実施	検証・実施		
			•	年月	E計画						中体内态		
	実力	施項目	第1四半期	第2	四半期	第3四半期	第4	4四半期					
		ェクトチ の設置	制度の調査・研究	試験的記	内設置・運営 検訓 検訓 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			E・改善 →		うえで進化運営を行う。	験的に設置・運営。検証・改善を図った		
計 平 画 成		- 改革運動 - 改革運動 - 仕組みの検討			-	新しい仕組みで募		集 ア提案」にて募集。			、「実施済提案」または「改善・アイデー 案3件表彰)		
平成24 年度 画 · 実績	評 価 実施	F 1			次年度に (私の一: ・改革・i ・提出件	への周	別知・意識付け	t	THE INTERPRETATION OF	27. 3.11.24.127			



						全	体計	一画				
戦	略	2「生産	する職員」の育成					方 策	Į.	(5)市民意見をサービス向	上につなげる制度の構築	
取組	取組事項 ①庁内LANを活用した意見収集・共有化の仕組みの構築							所管課	所 管 課 行政経営課・市長公室課・情報政策課			
事業の	・市民等の多様な意見を市政に反映する機会の確保 ・行政運営における公正の確保と透明性の向上 ・市民との協働による市政の推進									目的達成に 向けた手段 ・庁内LAN(全職員閲覧可能な)意見集約フォルダの		
			平成 24 年度	平成 25 年度			平成 26 年度			平成 27 年度		
全体	計画		運用I 制度の構築	開始 - ▶	制度運用			制度運用			制度運用	
				年度	計画						中作中央	
	実	施項目	第1四半期	第2日	四半期	第3四半期	第4	4四半期			実施内容	
計平画)運用開始	• /	宁内での検討				
平成24年度 実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	庁内で	向けた課題・改善点の検討は行ったが、制 の検討は行ったが、制 ムの構築後、運用する	訓度の構	築・運用開始 ・運用開始			度早期にシステムの構築について検討する。		

			年度記	計画			cta Mr. et artin
	実施項目	第1四半期	第2匹	9半期	第3四半期	第4四半期	· 実施内容
平成	制度構築及び運 用 用		システム構築 各課説明		システム運用開始	検証	・庁内LANを活用した意見集約システムの検討
平成25年度 実績	評価 実施 ①計画以上(②計画どお ③計画より:	に進捗している り進捗している 遅れている	未実施		: 向けた課題・改善点 ·ムを構築することが ⁻		再度担当課にて協議し、今後のスケジュールを調整する。
平成	 制度構築及び運 用	担当課による協議			システム構築各課説明	システム運用	・庁内LANを活用した意見集約システムの検討
平成26年度	評価 実施 ①計画以上(②計画どお ③計画より:	に進捗している り進捗している 遅れている	未実施		こ向けた課題・改善点 テムを構築することが		担当課にて協議し、今後のスケジュールを調整する。
平面	н	担当課による協議			システム構築各課説明	システム運用	・庁内LANを活用した意見集約システムの検討
平面 実施 ①計画以上に進捗している 実施 ②計画どおり進捗している ②計画とおり進捗している ②計画とおり進捗している 。 ・意見を収集する機会として意見箱や E-意見箱等の制度があり、それらによって収集した意見は、基本的に職員に ため、意見収集・共有化について、全く実施できていないわけではないが、より効率的かつ効果的な手法につい 究していきたい。							

						全	体言	十 画					
戦	略	3成長戦闘	略に基づく政策の	 再編				方 第	臣	(1)成長戦略の策定と推進			
取組	事項	①観光基 ² 進	本計画の策定と合	わせた観光	光交流分野	野の成長戦略の策気	ዸ・推	所管認	果	観光課			
事業(の目的	・既存の観光を見直し、既存業種の内部改革の促進、推進機関の強化等について、今後の伊東市の新たな観光の方向性を示す。							達成に た手段 た手段				
			平成 24 年度			平成 25 年度			2	平成 26 年度	平成 27 年度		
全体	観光基本計画策定に向けた論点整 理・検討					•	観光	観光基本計画の推進・検証 継続実施					
	年度計画 実施項目 第1四半期 第2四半期 第3四半期 1						第一						
		づくり等			•			□検討開始	・判	見基本計画を検証し、戦略	基本計画を検証し、戦略指針志向の計画の基本フレームを検討		
平成 24 年度 実績		点の集約				民間名 問題の 行政視点での諸問 題の集約(論点整 理等)		視点での諸の集約	(計画の位置づけ、役割の整理整頓、戦略方針、事業指針の整などを検討。計画期間は5年を想定)				
	評価 実施	実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている			・第四次	 向けた課題・改善点・ 伊東市総合計画との割 定にあたりパブリック	を合性を	図る。	3 。				

			年度記	計画			cta thr eta siza
	実施項目	第1四半期	第2四	3半期	第3四半期	第4四半期	実施内容
	伊東みらい観光 塾	●開催●開催●開催	●開]催●開催	●開催		・現基本計画を検証し、戦略指針志向の計画の基本フレームを検討 (計画の位置づけ、役割の整理整頓、戦略方針、事業指針の整理
	伊東市観光基本 計画市民懇話会	●開催	●開催	●開催			などを検討。計画期間は5年を想定)
平画成	伊東市観光基本 計画推進会議		●開催		●開催		・伊東みらい観光塾 (H24-H25 計 8 回開催)、市民懇話会 (H24-H25 計 5 回開催)、推進会議 (H25 計 1 回) での協議、さらにはパブリッ
25 · 年度 養	計画策定	骨子案作成 素案作成	パプコメ ┏	内容調整	取りまとめ 完成	<u> </u> 	クコメントを経て、平成26年3月に計画期間を5年とする第2次 伊東市観光基本計画を策定
度 美	②計画どま	に進捗している らり進捗している 遅れている	未実施		に向けた課題・改善点 た第2次観光基本計		以降、年度ごとの評価・検証を実施し、公表に向けた取組みを進めていく。
計平画成	伊東みらい観光 塾	●現事業検証 ●新規事業計画 ●新規事業実施 —	新規事業計画			●新規事業検証	・伊東みらい観光塾を2回開催し、いとう創造大賞での入賞アイデアの実践及び既存のイベント(伊東温泉花笠踊り)を見直した。 ・サマーレビューを実施し、聖域なき見直しを行うとともに、新規事業の構築を行った。
平成 26 年度 調画 · 実績	②計画どま	に進捗している 3り進捗している 遅れている	未実施	• 新規		イデアの発掘のため	。、伊東みらい観光塾を開催していく。 「ューにより既存事業を見直すとともに、新規事業を構築していく。
計 平 画 成 27 ·	伊東みらい観光塾	●現事業検証 ●新規事業計画 ●新規事業実施		•		実施せず	伊東みらい観光塾は開催しなかったが、サマーレビューを実施することで観光基本計画に基づく既存事業の見直しを行った。
27 · 年 度 績	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	新たけ		平成25年度に策定	した第2次観光基本計画について、策定後2年を経過していることから中間評価に計画を実践していく。

						全	体言	一画					
戦	略	3成長戦	略に基づく政策の	再編				方	策	(1)成長戦略の策定と推進			
取組	取組事項 ①観光基本計画の策定と合わせた観光交流分野の成長戦略の策定・推進 ②新病院等を活用した健康福祉分野の成長戦略の策定・推進 ③コミュニティビジネス等の生活関連分野の成長戦略の策定・推進									所管課 行政経営課 (観光交流分野は、観光課所管)			
事業の	の目的	• 成長戦日	略の策定と推進に。	よる地域	経済の活	性化、地域活力の暮	写生		目的達成に				
			平成 24 年度			平成 25 年度			2	平成 26 年度	平成 27 年度		
全体	計画	(コミュニ 新しい公共 ———	ティビジネス関連) :に関するPTにて検i 	計	検討結果に基づく施策展開				食討結	5果に基づく施策展開	検討結果に基づく施策展開 		
		(新病院	関係)		P T による検討				討結	果に基づく施策展開	検討結果に基づく施策展開 		
				年度	計画								
	実	施項目	第1四半期		四半期	第3四半期	第4	4四半期			実施内容		
計平画	PTI	Tによる検討 PT準備 PTによる検討 PTによる検討						•	. •]	プロジェクトチーム制度の	調査・研究		
平成24 年度 画 · 実績	評価 実施	②計画どお	に進捗している り進捗している 遅れている	未実施	次年度に・本来の			により	り、プロジェクトとしての活動	への取組みが不十分			

			年度記	計画			中性中等
	実施項目	第1四半期	第2四	9半期	第3四半期	第4四半期	· 実施内容
計平画成	PTによる検討	ITO「新公共	」プロジェ	クトチームで検討 検証・改善→			・ITO「新公共」プロジェクトチームの設置・運営について検討
平成25年度 実績	②計画どお	に進捗している り進捗している 遅れている	未実施	特定の	に向けた課題・改善点 職員へ業務が集中した 担当業務との調整、軍	ないよう、業務の適	正な業務の配分により、プロジェクトとしての活動への取組みが不十分
平 画	PTによる検討	●パプリックコメント -	●あり方質	策定・公表			・若手職員によるプロジェクトチームと市民参画による策定委員と の協働による、伊東市における市民参画・協働の推進のあり方策 定
平成26年度	②計画どま	に進捗している 3り進捗している 遅れている	未実施		向けた課題・改善点・ 画・協働の推進のあり		. 他の分野でのプロジェクトチームの設置について検討する必要がある。
平画成	PTによる検討	プロ	コジェクトヲ	ームの設	置・運営について検討	t 	・プロジェクトチームの設置・運営について検討
平成27年度 実績	②計画どお	に進捗している り進捗している 遅れている	・評価に		望れているとしている	るが、重要課題に対して、速やかにプロジェクトチームを設置し対応する必要性は こついても、プロジェクトチームの設置・運営について検討していく。	

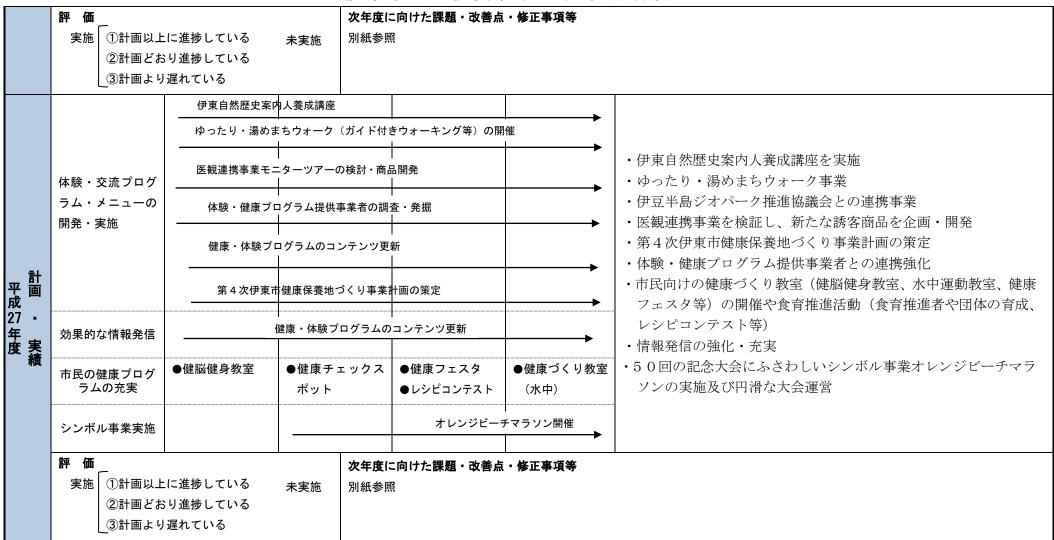
						全	体 計	- 画				
戦	略	3成長戦略	各に基づく政策の	再編				方 第	세	(2)観光交流推進機関の強	化	
取組	事項	②観光交流	た推進機関の強化 たに関わる異業種 きとの広域連携の	交流の仮		等の協議・調整の伽	足進	所管調	₹	観光課		
事業の	D目的	既存業種として第一観光の力・伊東市加	極の内部改革の促発 第1次産業との協作 で同性を示す。 の広域連携の	進、推進 働を官員 各協議会	機関の強化等と新たな観光資源 一体となって検討を行い新たな 等の効果検証を行い、その存廃 で、広域観光の効果的推進を図			目的達成(向けた手)		・伊豆観元推進協議会や近年では伊豆観元圏や伊豆平島シオハク推進協議会など広域連携による観光振興について各組織事業検証を行い事業が重複するなど無駄がないよう組織の合を検討していく。		
			平成 24 年度			平成 25 年度			Ā	平成 26 年度	平成 27 年度	
全体	計画	観光関連団	関の強化・異業種交流 体との検討会の実施 連携(めちゃくちゃ	<u> </u>	継続的実施			継続的実施			継続的実施	
		<広域連携の強化> 事業の実証及び検証			広域団体の統廃合の促進 				í	継続的実施	継続的実施	
		年度計画						実施内容			宇体内容	
	実	施項目	第1四半期	第2	四半期 第3四半期 第		第4	4四半期			关心内存	
	との定	連団体等 期的な検 ●効果 対会		●効果核	◆予算調整		●事業	●事業調整		観光関連団体との検討会による事業の検証及び新年度に向けての元 向性の協議 ・健康保養地づくり実行委員会・地元グルメ普及事業と連携した伊原		
計 平 画 成 24 ・	異業種	交流の促 進 新規事業の検		事業の検	討 ─── ►	寸 ●新年度予算へ反映		ゃくちゃ市	市等	市ならではの食事の提供(地元食材を使用した料理をホテル・旅等に提案)		
圧	広域連	携の強化	携の強化 ●サマ・ の見i		ーレビューで ● 新年度予算へ反映					「果市か参加する団体の効果 議等と連携した広域団体の	果検証の実施及び伊豆半島7市6町首長 D統廃合等を検討	
度績	評 価 実施		こ進捗している り進捗している 遅れている	未実施	• 広域団	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・広域団体の統廃合については、伊豆半島7市6町首長会議で検討している。 ・観光協会との検討会は回数を増やし調整を図った。 ・産業課主管の「めちゃ美味グランプリ」のグランプリ商品である地元食材のバーガーをイベントの中で紹介し普及に努めた					ーをイベントの中で紹介し普及に努めた。 	

				年度	計画			中华中帝
	実施項目	第	1四半期	第2四	9半期	第3四半期	第4四半期	· 実施内容
	観光関連団体との定期的な討会	· च ।	間計画の確認	●サマー L の見直 し		●次年度予算調整	●次年度事業調整	・観光関連団体との検討会による事業の検証及び新年度に向けての方 向性の協議
計平画	異業種交流 <i>0</i> 進	促	新規事業の検		-	●新年度予算へ反映	●めちゃくちゃ市出展 ●まくら投げ大会出展	・地元の食材を活かした観光客誘致(めちゃくちゃ市、めちゃ美味グランプリの開催) ・伊東市が参加する団体の効果検証の実施及び伊豆半島7市6町首長
平成 25 年度 画 · 実績	広域連携の強	北化		●サマーレ の見直し	,ビューで ,	●新年度予算へ反映 統 廃	合	・伊東川が参加する団体の効果検証の美施及の伊豆十島で川も町自長 会議等と連携した広域団体の統廃合等を検討
積	②計画	どおり進捗	に進捗している 未実施・り進捗している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		• 広域団 • 観光協	会との検討会は回数で	は、伊豆半島7市6 を増やし調整を図っ	町首長会議で検討している。 た。 の中で紹介し普及に努めた。
	<u> </u>		間計画の確認	●サマーレビューで の見直し 効果検証		●次年度予算調整	●次年度事業調整	・観光関連団体との検討会による事業の検証及び新年度に向けての 方向性の協議
計平画	異業種交流の促 進 		新規事業の検討	計 ●磯遊び体験		●新年度予算へ反映	●めちゃくちゃ市出展 ●まくら投げ大会出展	・地元の食材を活かした観光客誘致 ・伊東市が参加する団体の効果検証の実施及び伊豆半島7市6町首長 会議等と連携した広域団体の統廃合等を検討(美しい伊豆創造セン
成 26 ·	広域連携の強化			●サマーレビューで の見直し		●新年度予算へ反映 統 廃	合	安一の設置が決定された。)
 接	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている			未実施	・広域団 合に向 ・観光協	可けた調整を進めてい 3会との検討会は、定	は、平成27年4月 く。 期的(四半期に一回	から「美しい伊豆創造センター」の設立が決定したことから、既存の協議会の統 程度)開催し、調整を図っていく。 をイベントの中で紹介し普及に努めていく。

				14	<i>></i> -14-	1. 7. VIII. 19 4	7 1 7 THE 24		
		観光関連団体等 との定期的な検	●年間計画の確認	●サマーレビ の見直し	:ユーで	●次年度予算調整	●次年度事業調整	朝业即审国体(A中南州业协会)1. (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	
		討会		効!	果検証		•	・観光関連団体(伊東観光協会)との検討会を定期的に開催し、事業 の検証及び新年度に向けての方向性等について協議を行った。	
	計	異業種交流の促	新規事業の検討	,		●新年度予算へ反映	●めちゃくちゃ市出展	・伊豆・いとう地魚王国地魚-1 (ジオワン) グランプリで優勝した	
平成	平 車 成 27 -	進		●磯遊び体馴	験		●まくら投げ大会出展	富戸コロッケについて、その優勝店と連携し、全日本まくら投げ大 会 in 伊東温泉にて地元グルメとして PR を行った。	
27 年 度	実績	広域連携の強化		●サマーレビューで の見直し		●新年度予算へ反映			
	績	評価		;	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
		実施 ①計画以上	に進捗している	未実施	・伊東観	光協会との検討会を	定期的に実施し、さ	らなる連携・調整を図っていく。	
		②計画どお		・鮮魚の新鮮すり身製造販売に取り組むいとう漁協が開発する地魚のすり身を使った商品(サバ男サンド、つみれ汁、はんぺん)					
		②計画より	遅れている		などを	イベントの中で紹介	し、普及に努めてい	< 。	

						全	体言	十画				
戦	略	3成長戦闘	格に基づく政策の	再編				方 第	꺰	(3)健康保養地づくり事業	きの積極的推進	
取組	事項	0	養地づくり計画の 養地づくりの市民		•	上に向けた施策の 原	展開	所管認	観光課・健康医療課・生涯学習課			
事業の	の目的	行政が記	れた自然や温泉、多様な観光施設などの資源を生かし、市民 が連携、協働し、「住む人も訪れる人も元気になるまち」を して、市民、観光客の健康増進と市内経済の活性化を目指す						・体験・交流プログラム・メニューの充実自的達成に向けた手段・効果的な情報発信・シンボル事業の実施			
			平成 24 年度			平成 25 年度			7	平成 26 年度	平成 27 年度	
全体	計画	実行委員会	による実施及び検証		検証に基づく	効果的事業の実施	_	継続的実施			継続的実施	
								4次健康保	養地	づくり事業計画策定準備	4次健康保養地づくり事業計画策定	
				年	度計画							
	実	施項目	第1四半期	第2	2四半期	第3四半期 第4四半期			夫			
	体験・交流プロ グラム・メニュ 一の開発・実施		ゆったり・湯めまちウォーク(ガイド付きウォーキング等)の開催 ITO ドリームッアーの開催 市内健康プログラム提供事業者の調査・発掘					····································	・市内健康保養プログラム提供事業者との連携強化・伊豆半島ジオパーク推進協議会との連携事業・情報発信の強化・充実・ITOドリームツアー(県外の小中学生を招待し市内の小中学			
計平画成		健康づくり ラムの充実							• ;	の児童・生徒と体験学習・文化交流) シンボル事業オレンジビーチマラソンの実施及び規模拡大 ル・ハーフ等)の検討 伊東温泉健康フェスティバル(仮称)の検討		
平成 24 年度 実績	効果的	な情報発信	健康・体験プロ	' グラムの 	コンテンツ更新	f		-	• -	市民向けの健康づくり運動	か、食育運動の推進(教室・フェスタ、	
積	シンボ	ル事業実施		伊東	オレンジビーチマラソン開催 (伊東温泉健康フェスティバル(仮称)の企画・調				コンテスト等の開催)			
	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている					向けた課題・改善点	· 修正哥	万				

			年度記	画			ch thr ch sin		
	実施項目	第1四半期	第2四	半期	第3四半期	第4四半期	- 実施内容		
		ゆったり・湯め:	まちウォーク	(ガイド付	│ きウォーキング等)の開 │	 催 	・市内健康保養プログラム提供事業者との連携強化 ・伊豆半島ジオパーク推進協議会との連携事業		
	体験・交流プロ グラム・メニュ		ITO ドリームツ	アーの開催	健康ジオン	ソアーの開催	・情報発信の強化・充実		
	一の開発・実施		医観連携乳	業の検討	●新年度予算へ反映		・ITOドリームツアー (市内の小中学生と県外の小中学生との体		
		市内健康プ	ログラム提供	事業者の調	・ 査・発掘 -	_	験学習・文化交流)		
計	市民の健康づくり	健脳健身	教室・健康フ	ェスタ開催	•		・医観連携事業としてモニターツアー(人間ドックとホテル宿泊) を実施し、新たな誘客ツールを開発		
平画	プログラムの充実		レシピコンテ		•		・シンボル事業オレンジビーチマラソンの実施及び今後の円滑な大		
25 -		健康チェ	ックスポット 十	設置	•		会運営やイメージアップにつながるサービスの検討		
平成 25 年度 題 · 実績	効果的な情報発信	健康・体験プロ	コグラムのコン	テンツ更新	新 		・伊東温泉健康フェスティバル(仮称)の検討		
積	- 18			オ	├──── レンジビーチマラソン閉		・市民向けの健康づくり運動、食育運動の推進(健脳健診教室・健		
	シンボル事業実施 		伊東温泉	・ <u>限健康フェ</u>	<u>スティバル(仮称)の企</u>	画・調整	康フェスタ、レシピコンテスト等の開催)		
	評価			次年度に	向けた課題・改善点	・修正事項等			
	実施 ①計画以上	未実施	別紙参照	Į.					
		り進捗している							
	[③計画より	遅れている 	1		T	T			
		伊東自然歴史第	医内人養成講座			<u> </u>	・伊東自然歴史案内人養成講座		
	 体験・交流プロ	ゆったり・湯め	<u>まちウォーク</u> –	(ガイド付	きウォーキング等)の <u>┣</u>	見催 →	・ゆったり・湯めまちウォーク事業		
	グラム・メニューの開発・実施			A-1 -		/アーの開催 	・伊豆半島ジオパーク推進協議会との連携事業 ・医観連携事業を検証し、新たな誘客商品を企画・開発		
計	一の開発・美胞	医観連携事業モニ	1		1	-	・体験・健康プログラム提供事業者との連携強化		
平画		体験・健康 	₹プログラム提 ┃ ────	供事業者の	D調査・発掘 ├─────		・市民向けの健康づくり教室(健脳健身教室、水中運動教室、健康		
平成 26 · 実	+00m+2-1	●健脳健身教室	●健康チ:	ェックス	●健康フェスタ	●健康づくり教	フェスタ等)の開催や食育推進活動(食育推進者や団体の育成、		
年 実	市民の健康プログ ラムの充実		ポット		●レシピコンテス	室(水中)	レシピコンテスト等)		
度実績					<u> </u>		・情報発信の強化・充実		
	効果的な情報発信	健康・体験プロ	コグラムのコン	/テンツ更	新		・シンボル事業オレンジビーチマラソンの実施及び今後の円滑な大		
					 レンジビーチマラソン閉		- 会運営やイメージアップと更なる参加者増加につながるサービ		
	シンボル事業実施		伊東	_	フェスティバル(仮称)(スの検討・伊東温泉健康フェスティバル(仮称)の公画・調敕		
		<u> </u>					・伊東温泉健康フェスティバル(仮称)の企画・調整		



	実施項目			実績
平成24年度 24年度	体験・交流プログラム・メニューの開発・実施市民の健康づくりプログラムの充実	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 観光課 ・実行委員会で管理しているホームページの情報量を増やす。 ・医観連携事業の構築を図る。 ・伊東温泉健康フェスティバル(仮称)の早期実施を図る。 健康医療課 ・市民の健康づくりプログラムの充実に関する事業について、参加者が前年より多くみられ、関心が高いと思われる。
~	効果的な情報発信 シンボル事業実施			・健康チェックスポット設置では意向調査により設置場所を増やすとともに健康相談を取り入れる等で更なる充実を図っていく。 生涯学習課 ・オレンジビーチマラソンは、近年の参加者増に伴い、円滑な大会運営と参加者の安全確保が求められる。大会規模の拡大は、交通事情等から難しい状況である。
平成 25 年度	体験・交流プロス グラム・・交流プロス クラム・・ 市民の健康づら がラムの充実 効果的な情報発信	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 観光課 ・実行委員会で管理しているホームページの情報量を増やし、アクセス数の向上を図る。 ・医観連携事業として、人間ドックの受診とかかりつけ湯加盟宿への宿泊を組み合わせたモニターツアー(2回)を開催 ・モニターツアーの参加者からもらった意見を踏まえ、医観連携事業として人間ドックと宿泊を結びつけた商品の開発を図る。 ・新たなシンボル事業の早期実施を図る。 健康医療課 ・レシピコンテストは、市民に定着してきたが、複雑なレシピが増えているため、簡単に調理できる野菜料理の普及・啓発のため審査の際、考慮していきたい。 ・健康チェックスポット設置については、既設置場所において健康相談を実施した。平成26年度においても健康相談を継続するとともに、職域健康づくりの観点から大型旅館への設置を開始する。 生涯学習課 ・オレンジビーチマラソンについては、過去最高の参加者となったが、参加者の安全確保を第一とした抜本的な大会の運営に至っていない。

	実施項目			実績
	体験・交流プログラム・メニューの開発・実施 市民の健康づくりプログラムの充実			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 観光課 ・伊東自然歴史案内人養成講座については、ガイド付きウォーキングの中心となる案内人を引き続き養成していく。また、養成講座の受講生が減少傾向にあることから、案内人主催の講演会などで受講のPRを実施する。・ゆったり・湯めまちウォークについては、豊富な本市の魅力を知ってもらうため、新たなコースを設定し実施する。
	効果的な情報発信			・伊豆半島ジオパーク伊東ビジターセンターが平成27年3月22日にプレオープンしたことから、ビジターセンターを活用した健康ジオツアーを実施する。 ・モニターツアーの参加者からもらった意見を踏まえ、医観連携事業として人間ドックと宿泊を結びつけた商品の開発を図る。 ・体験・健康プログラム提供事業者の調査・発掘を行い、実行委員会で管理しているホームページの内容を充実
平成 26 年度	シンボル事業実施	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	未実施	 し、アクセス数の向上を図る。 ・医観連携事業として、平成 25 年度に実施したモニターツアーの内容を踏まえ、人間ドックと宿泊を結びつけた商品の開発を図る。 ・本市の資源と健康を繋げた新たなシンボル事業の早期実施を図る。 健康医療課 ・健康フェスタは市民に定着し、参加者も増加しているが、さらに市民の健康に寄与できるような実施内容を検討する。 ・健康チェックスポット設置については、大型旅館及び金融機関支店に血圧計を設置し、既設置場所において健康相談を実施した。血圧測定の機会を提供し、設置場所において健康相談を実施することで、健康意識の向上
				を図っていく。 生涯学習課 ・オレンジビーチマラソンの円滑な大会運営の一つとしてゼッケンの事前発送を実施した。これにより、当日受付をなくし、参加者が時間をかけてゼッケンを受け取る負担がなくなった。 また、参加者人数を制限することにより、参加者が走りやすい環境を構築した。

	実施項目			実績
W	体験・交流プログラム・メニューの開発・実施 効果的な情報発信	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 観光課 ・伊東自然歴史案内人養成講座については、ガイド付きウォーキングの中心となる案内人を引き続き養成してい く。 ・ゆったり・湯めまちウォークについては、豊富な本市の魅力を知ってもらうため、新たなコースを設定し実施 する。 ・伊豆半島ジオパーク伊東ビジターセンターを起点とした健康ジオツアーを検討していく。 ・体験・健康プログラム提供事業者の調査・発掘を行い、実行委員会で管理しているホームページの内容を充実 し、アクセス数の向上を図る。 ・医観連携事業として、人間ドックと宿泊を結びつけたツアーの商品化を図る。 ・シンボル事業をはじめ、取組が遅れている事業もあるため評価を③計画より遅れているとしているが、それら については、平成 27 年度に策定した第4次伊東市健康保養地づくり事業計画に基づき、引き続き進捗を図っ
平成27年度 実績	市民の健康プログ ラムの充実	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	未実施	でいく。
	シンボル事業実施	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	未実施	 生涯学習課 ・第50回の記念大会を夕刊フジとの共催とし、首都圏への情報発信等を積極的に行うとともに、協賛団体を募る新たな運営方法により大会を実施し、ゲストランナーの招聘、地元企業による参加者へのみかんやとん汁の無料配布等、50回の記念大会にふさわしいものとした。 ・135号バイパス全4車線を使用し、5km、10kmのコース変更をしたことにより、参加者の安全性の確保に一定の基準を満たしたと考えられる。 ・例年日曜日に大会を実施してきたが、土曜日開催を望む声もあることから、コース沿線の住民、業者等の関係者と調整し、開催曜日を検討していく。

※評価については、上表においては所管課ごと評価しているが、「伊東市公共経営改革大綱実施状況の3具体的方策別実施状況」においては、 総合的に判断し「③計画より遅れている」と評価する。

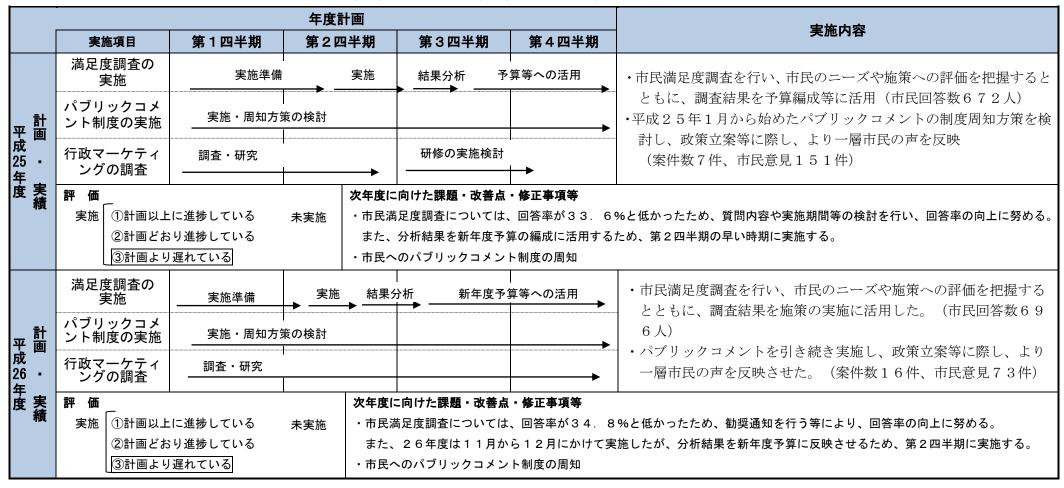
						全(体 言	十画				
戦	略	3 成長	戦略に基づく政策の	の再編				方	策	(4) 起業支援·企業誘致	の推進	
取組	事項	推進	(企業OB等) の知			る企業支援、企業誘	致の	所 管	課	市長公室課、産業課、行	政経営課	
事業0	D目的	流人口				研究所等を誘致など 地利用状況等を踏ま			目的達成に 向けた手段 ・先進事例などの情報収集 ・企業動向、人脈の把握とそれを活かした企業へのアプローチ			
		平成 24 年度				平成 25 年度			3	平成 26 年度	平成 27 年度	
全体	計画	企業動向	・企業人脈の把握		企業動向・企業人脈の把握 人脈等を活かした企業への		人脈等を	 、 脈等を活かした企業へのアプローチ 継続的実施		———— → 継続的実施		
					アプローチ							
					アドバイサ	 デー登録制度の検討	→					
		年度計画										
	実	施項目	第1四半期	第2	2 四半期 第 3 四半期 第 4 四半			4四半期			実施内容	
		向・企業 収集把握						→		サ 車 市 に 関 連 才 ス 企 業 笙 (施設・土地を有する企業) へのヒアリン	
		/ 以来17年								伊東市に関連する企業等(施設・土地を有する企業)へのヒアリング		
平成 24 年度 計画 · 実績	庁内意	意見調整				庁内連絡会議			• 5	先進事例の情報収集、本市	に適した企業誘致の検討	
24 · 在	評価	_			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等							
度実	実施			未実施		はない。産業課	. →	·+ ~ # >	- <i>스 ‰</i> -	7 人		
小 貝		_	進捗している		・情報収集には努めているものの、ス				-台致す	る近耒の情報かない。		
	③計画より遅れている ・具体的ビジョンや計画について ・毎月実施している商工会議所と							討する。 打ち合わせの中で、効果的な方策を検討していく。				
									•			

			年度	計画			中性小袋
	実施項目	第1四半期	第2日	9半期	第3四半期	第4四半期	- 実施内容
	企業動向・企業 人脈の収集把握					>	・伊東市に関連する企業等(施設・土地を有する企業)へのヒアリ ング
	先進自治体の状 況調査				•		・先進事例の情報収集、本市に適した企業誘致の検討 ・起業支援方策等について、他自治体の実施状況等を調査
平成 25 年度 計画 · 実績	庁内意見調整 事業内容の検討		庁内連絡	会議 ●	<u>€</u>		・起業支援及び空き店舗対策事業を創設(平成26年度から施行) ・人脈等を活かした企業へのアプローチ ・アドバイザー登録制度の検討
年 上							・商工会議所と効果的な方策について検討
杯具	評価 実施 ①計画以上 ②計画どお ③計画より	未実施	市長公室 ・先進事 ・起業支	援及び空き店舗対策	に努めるとともに、 補助金の周知・利用	企業に対し情報提供できる資料作成の検討を行う。 促進に努める。 報共有する中で、PDCAサイクルを実践する。	
	企業動向・企業 人脈の収集把握					-	・伊東市に関連する企業等(施設・土地を有する企業)へのヒアリ
	先進自治体の状 況調査					-	・ ・ ・ 先進事例の情報収集、本市に適した企業誘致の検討
計平画	庁内意見調整 事業内容の検討		庁内連絡	会議 ●		→	・人脈等を活かした企業へのアプローチ・アドバイザー登録制度の検討
平成 26 · 実	起業支援制度の 周知					-	・新設する企業支援及び空き店舗対策事業補助金の周知及び利用促進。
度実績	商工会議所との 定例会の実施					-	・上記制度について、商工会議所と情報及び意見交換
	ア 価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	企業の		ともに、本市に適し	た企業の検討をし、企業に対して情報提供できる資料の検討を行う。 所店舗対策事業補助金の利用促進について検討する。

計画	企業動向・企業 人脈の収集把握 先進自治体の状 況調査 庁内意見調整 事業内容の検討 起業支援制度の 利用促進 商工会議所との 定例会の実施		广内連絡 名	・伊東市に関連する企業等(施設・土地を有する企業)へのヒアリング ・先進事例の情報収集、本市に適した企業誘致の検討 ・人脈等を活かした企業へのアプローチ ・市有地情報の収集 ・起業支援及び空き店舗対策事業補助金の更なる周知を図り、利用 促進を図った。 ・上記制度について、商工会議所と情報及び意見交換を行い、必要に 応じて事業の見直し、改善を行った。
平成 27 年度 画 · 実績	評価 実施 ①計画以上(②計画どお ③計画より;	り進捗している	未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 市長公室課 ・移住・定住促進の観点から、自然環境が豊かな本市の特性を活かした企業誘致につなげる制度設計を検討する。 ・不動産業者と連携し、企業立地に適した物件の把握に努める。 ・評価を計画より遅れているとしているが、企業誘致については平成27年度に策定した「伊東市まち・ひと・しごと創生人ロビジョン・総合戦略」の中で引き続き取り組んでいく。
		こ進捗している り進捗している 遅れている	未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 産業課 ・起業支援及び空き店舗対策事業補助金の継続的な周知 ・効果的な起業を促進するため、その時勢やニーズに合わせ、事業の見直しを行った。 ・起業支援については平成27年度に策定した「伊東市まち・ひと・しごと創生人ロビジョン・総合戦略」の中で引き続き取り組んでいく。

※評価については、上表においては所管課ごと評価しているが、「伊東市公共経営改革大綱実施状況の3具体的方策別実施状況」においては、 総合的に判断し「③計画より遅れている」と評価する。

						全	体 計	画			
戦	略	4市民満足	足度と財政健全化の	の両立を	目指す方	策の展開		方 策	E (1	1)ITOシステムの更な	よる進化
取組	事項		案・決定に際しての 哉調査、満足度調			屋の強化		所管課	具 介	「政経営課・市長公室 語	· 果
事業(り目的	る。 ・政策立刻	_ ,_,_ ,		で代のニーズに合った施策を実施す で広く聴き、市民の立場に立った			目的達成(向けた手)	■ ● 1人 場(古里)(2.25年11/2.25年11		
			平成 24 年度		平成 25 年度				平原	成 26 年度	平成 27 年度
全体	計画	満足度調査の実施 活用 トロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			満足度調査	全で変換 活用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		満足度調査の実施 活用 満足度調査			満足度調査の実施 活用 → → → → → → → → → → → → → → → → → →
		行政₹	→	<u>;</u>	→ 各課において行政マーケティンク			ブを活用	1	*	
	ф.	年度計画 施項目 第1四半期 第2四半期 第3四半期 第3四半期 第3四半期 第3四半期 第3四半期 第3四半期 第3四半期 第3四半期 第3四半期 第3回半期 第3回半期 第3回半期 第3回半期 第3回半期 第3回半期 第3回									
		11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			四十别	第3四千朔	寿 4	四十州			
		度調査の 実施	Ξ調査の 上施 実施準備 大阪			実施 結果分析 予算等への		活用・市民満足度		R満足度調査を行い、市	民のニーズや施策への評価を把握すると
計平画		ックコメ 度の実施			度構築		実法	₽協		ともに、調査結果を予算編成等に活用(市民回答数722人) ・パブリックコメント制度を導入し、政策立案等に際し、より一層市	
平成24年度 実績		ーケティ の調査				活用に向けた調査	・研究		民(か声を反映(条件数 1:	3、市民意見2件 ※試行期間含む)
度 天	評価 実施		に進捗している り進捗している 遅れている	未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・市民満足度調査の結果を基に、施策・事業の優先度や新たな課題への取り組み等、市民の意向に沿ったまちづくりを進めて ・市民へのパブリックコメント(意見公募)制度の周知						市民の意向に沿ったまちづくりを進めていく。



			年度計	·画			実施内容
	実施項目	第1四半期	第2四	半期	第3四半期	第4四半期	美胞內谷
	満足度調査の 実施	実施準備	実施 >	結果	· 分析 新年度予 ├──► ──────	· - 算等への活用 	・市民満足度調査を行い、市民のニーズや施策への評価を把握する とともに、調査結果を施策の実施や新年度予算の編成に活用した。
計 平 画 成 27 -	パブリックコメ ント制度の実施	実施・周知方法	策の検討			>	(市民回答数966人) ・パブリックコメントを引き続き実施し、政策立案等に際し、より 一層市民の声を反映させた。 (案件数13件、市民意見76件)
年 実	②計画どお	に進捗している り進捗している 遅れている	未実施	• 市民》		、勧奨通知を行った	:ことで回答率が48. 3%と若干向上したため、引き続き回答率の向上に努める。)更なる周知を図っていく。

						全	体言	十 画				
戦	略	4 市民満足度と財政健全化の両立を目指す方策の展開							/III	(1)ITOシステムの更な	る進化	
取組	取組事項 ②長期的視野での政策仕分けの強化(戦略会議での検討強化、有識者の活用等)							所管調	課 行政経営課			
事業(・限られた人的、財的資源を最大限活用し、多種多様な行政ニーズに対応 対応 ・効率的かつ効果的な行政運営の推進								目的達成に			
	平成 24 年度 平成 25 年度								平成 26 年度 平成 27 年度			
全体	計画	サマー <u></u>	レビューによる仕分!	サマーレビューによる仕分け ────			#7 —	サマーレビューによる仕分け サマーレビュー		サマーレビューによる仕分け 		
				年度	計画						実施内容	
	実	施項目	第1四半期	第2	四半期	第3四半期	第一	4四半期			关旭内谷	
≘∔	サマーレビュー						-	予算査定 ・サマーレビューによる事務事業の集中見直しを実施 ・戦略事業会議での長期的視点での事業仕分けの実施				
平成 24 年度 実	懇談:	会の開催		開催	助言のサ 	マーレビューへの活用 	Ħ			行政改革懇談会(2回)の		
年宝	事業 評価 次年度に向けた課題・改善点・修正 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 (サマーレビュー)							項等				
及養績												
②計画どおり進捗している ・職員の意識改革(目標管理・コスト意識等)・改善意欲									レの周知			
		_③計画より	遅れている		・課内で	の情報共有化による共	通認調	機の中での見直	直し・	・再構築の実施		

			左 击=	Lizzi				
			年度計				実施内容	
	実施項目	第1四半期	第2四	半期	第3四半期	第4四半期	7,,5174	
= 1	サマーレビュー の実施	部長指示	担当課・副市長 ヒアリング →		戦略事業会議	予算査定 	・サマーレビューによる事務事業の集中見直しを実施し、見直しにより生じる資源(ヒト・モノ・カネ)を、"未来協知"の実現に向け	
平成 25 年度	懇談会の開催		開催	助言 <i>0</i> ▶	 	活用 開催	た重要事業に投入「選択と集中」 ・行政改革懇談会 (2回) の助言を活用	
年	評価			次年度に	:向けた課題・改善点	• 修正事項等		
度実績	実施 ①計画以上	に進捗している	未実施	・部課内]での情報共有化による	る共通認識の中での	PDCAサイクルの実施	
ボ貝	②計画どお	らり進捗している		職員の)意識改革(目標管理・	・コスト意識等)・改	対善意欲の向上	
		遅れている		事務事	業見直し作業の簡素化	Ł		
	サマーレビュー		 担当課・	副市長				
=1	の実施	部長指示	ヒアリ		戦略事業会議	予算査定 	・サマーレビューによる事務事業の集中見直しを実施(重点テーマの 設定)	
平成 26 年度 計画 · 実績	懇談会の開催				募集・開催	開催	・行政改革懇談会委員の募集及び助言を活用	
年	評価			次年度に	こ向けた課題・改善点	・修正事項等		
度実	実施 ①計画以上	に進捗している	未実施	・サマー	-レビュー等事務事業	見直し作業の簡素化		
利	-	らり進捗している 遅れている		・行政は	枚革懇談会からの提言 :	が年度前半に予定さ	れており、それを受けた新たな公共経営改革大綱の策定が課題	
	サマーレビュー	部長指示	担当課・ ヒアリ		戦略事業会議	予算査定	・サマーレビューによる事務事業の集中見直しを実施(重点テーマの設定)	
	の実施		L J 1				・行政改革懇談会から、行政改革に関する提言をいただき、新たな公	
平成 27 · 実	懇談会の開催	●開催 	●開催	●開催●提 →	言	●開催 	共経営改革大綱策定の際に活用。 ・平成32年度までを期限とする新たな伊東市公共経営改革大綱を策	
年 _	評 価			か 年 申・・	│ □にはいまとは、これである。	 .	定した。	
度 実	_	に進捗している	<u></u>				ポックス 年度の十細の総括的な評価を行い、これを新たなの世級党改革十細の中族東	
小具			未実施	・行政改革懇談会において、平成 24 年度から平成 27 年度の大綱の総括的な評価を行い、これを新たな公共経営改革大綱の実施事				
	'	り進捗している	項に生かしていく					
	しる計画より	遅れている						

						全	体言	十画				
戦	略	4市民満足	足度と財政健全化の	の両立を	目指す方質	策の展開		方 策	臣	(2)職員定数の適正化		
取組	事項		え・職種間交流・技			よる職員定数の削減 目等による職員の適		所管調	₹	行政経営課		
事業の	の目的		の適正化(大綱にえ 歯材適所に配置する			を目標) 的で効率的な行政道	重営	目的達成 向けた手	段 ・ 「職種変更制度の美施(事前にアンケートを美施し、「職種変更 の希望者を把握)			
			平成 24 年度			平成 25 年度			平	² 成 26 年度	平成 27 年度	
全体	計画	【職員定数適正化】 計画策定作業 ————————————————————————————————————			計画の実施 →			計画の実施 計画の実施 計画の実施		計画の実施 ▶		
		【職種変更】 職種変更制度実施 (審査委員会設置、試験等) -			職種変更制度実施 (訓練実施・配属、試験) 				更制度実施 実施・配属、試験) ━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	職種変更制度実施 (訓練実施・配属、試験) ▶		
				年度	計画				电			
	実	施項目	第1四半期	第2日	四半期	第3四半期	第	4四半期	四半期 実施内容		天爬內谷	
=1		員適正化 「の策定			計画策定作業		計画決定	・新定員適正化計画の策定作業		***		
平成 24 · 実		変更制度 実施	審査委員 _{アンケート} 会設置 <u>調査</u> ●			募集申込み 試験 1	ı 合否決! ● ı	定		戦性変更制度の美施(番鱼 式験、合否決定)	芸委員会の設置、アンケート調査、募集、	
年度	評価	_			次年度に向けた課題・改善点・修正			耳等				
度実績	実施		①計画以上に進捗している 未実施								哉員配置をはじめ、組織の活性化を進めていく。	
		<u> </u>	り進捗している						が合格	~10、25年4月1日から職種変	を更訓練を実施している。今後も、制度の積極	
		_3計画より	遅れている		的な活	用が図れるよう運用し	していき	きたい。				

	-			.,			
			年度計	画			
	実施項目	第1四半期	第2匹	半期	第3四半期	第4四半期	大ルビドリセ
	新定員適正化計 画の実施		定員適正	化に向け	た計画の実施		・定員 709 人に向けて、計画を着実に実施
平 画 成	職種変更制度の 実施	職種変更訓練 ● 委員:	会開催		●正式配属	●合否	・職種変更制度の継続実施(委員会開催、募集・試験・合否決定)
平成25年度 実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	次年度に ・平成 26 ・平成 25	向けた課題・改善点 6 年度の職員数は 728	・ 修正事項等 人で、平成 25 年度 変更試験に 5 人が合	 と比較し△5 人となった。今後も 709 人に向けて、計画を着実に実施していく。
計平画成	新定員適正化計 画の実施 職種変更制度の	職種変更訓練	定員適正任	とに向け 募集・試験	た計画の実施	→	・定員 709 人に向けて、計画を着実に実施 ・職種変更制度の継続実施(委員会開催、募集・試験・合否決定)
平成26年度 実績	実施 委員 評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項 ・平成 27 年度の職員数は 717 人で、平成 26 年度において、職種変更試験に			
計平画成	新定員適正化計 画の実施 職種変更制度の 実施		定員適正任	とに向け	た計画の実施	-	・定員 709 人の目標を達成 ・限られた職員で効率的な行政運営が可能となる職員配置の観点で 募集職種の検討等をした上で、職種変更制度の実施について検討 した結果、平成 27 年度の実施については、見送ることとした。
平成27 年度 :画·実績	評価		未実施	・新たな	□向けた課題・改善点 □職員定数計画として、 こいく。		土 共経営改革大綱に示された平成 32 年度当初までに 570 人に向けて着実に計画を実

						全	体言	十画				
戦	略	4 市民汽	満足度と財政健全	化の両立	を目指する	万策の展開		方 策	(2) 職員定数の適正	化		
取組	事項	③ 消防	対急広域化の推進					所管課	企画指令課			
事業の	事業の目的【住民サービスの向上】 ・消防力の基準に基づく現場体制の充実強化 ・指揮命令の一元化による効率的な部隊運用 【財政・組織面の拡大】 ・消防体制の基盤の強化								(管理部門・指令部 (高度・高価な資機 ・消防指令業務の共	7 町による広域化の実現→H24.6に4市3町に変更 門の統合による現場要員の強化) 材整備、人材育成による専門性の向上) 同運用及び統合 有を一元化し効率的な消防体制を構築)		
	平成 24 年度 平成 25 年度							平成 26 年度	平成 27 年度			
全体	調整項目の抽出及び協議						法定協議会	去定協議会発足 ■				
		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			法定協議会移行準備 ▶			防運営計画の策定 約(案)、条例(案)等作成	各市町議会における広域化の議決			
				計画					中体内态			
	実	施項目	第1四半期	第21	四半期	第3四半期	第	—————————————————————————————————————				
計平画	調整項目 検討内容・方針の決定 協議・調整						・調整項目を抽出し、ワーキンググループによる内容の検討・方針: 決定。					
平成 24 年度						・方針に従い調整項目の検討結果(素案)を作成 ・5市7町による広域化から4市3町による広域化に変更となった。						
24 · 年	評価 次年度に向けた課題・改善点・修正事					向けた課題・改善点	事項等					
度蹇	実 実施 ①計画以上に進捗している 未実施・広域化協議が進展しないため、平成2							25年度当初	に沼津市、伊東市、伊豆市か	ら一般行政職員を事務局に派遣し、早期に法定協議		
桐		②計画通り	進捗している		会設立を目指す。							
								種信指令施設の統合を行うため、消防通信指令事務協議会を設立し事務執行を行う。				

-					アラムン作品		
			年度記	一画			実施内容
	実施項目	第1四半期	第2四	半期	第3四半期	第4四半期	大心内谷
	消防救急広域化 協議会	広域化法定協議会記	受立準備・協	協調整 ▶	法定協議会設立・瓜	│ 広域消防運営計画 ├──── ▶	・幹事会及び専門部会等により広域化法定協議会設立に向けた調整項 目の協議
計平画	消防通信指令 事務協議会	事務協議会設立	デジタル	レ無線及び	 	 案作成 _	・広域化の法定協議会設立後は広域消防運営計画を作成 ・デジタル無線整備及び通信指令施設整備に向けた事務協議会の設立
DX 25 •							・事務協議会による整備費用の予算案作成
平成 25 年度 実績		に進捗している 進捗している 遅れている	未実施	・平成2 務局に ・平成2	派遣する。	発足し、更に協議を 2 7 年度にかけて、	加速させるため、伊豆の国市、函南町、東伊豆町、清水町から一般行政職員を事消防救急デジタル無線、高機能消防通信指令センター(機器)、消防通信指令セン
	消防救急広域化 協議会	达域消防運 額	域消防運営計画の作成、組合規約(案)の作成 ▶			・幹事会及び専門部会等による具体的な調整項目の協議 ・広域消防運営計画の作成及び組合規約(案)等の作成	
平画成	消防通信指令 消防通信指令センター 消防通信指令センター 消防通信指令センター 消防通信指令センター 消防通信指令センター 消防通信指令センター 消防通信指令センター 1 1 1 1 1 1 1 1 1		 ▽一整備等の実施設計 		消防通信指令セン 指令施設整備	·ター庁舎改修・ 	・指令施設及び消防通信指令センター庁舎の実施設計、消防通信指令センター庁舎改修工事
平成 26 年度 :画 ・ 実績	実績 評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている				義を早急に実施すると	の議会で議決が得ら ともに、内部情報シ	・消防救急デジタル無線整備工事 れたため、平成28年4月の駿東伊豆消防本部運用開始に向け、調整項目の詳細 ステムの構築を進める。 等による通信員の養成や住民基本データの取扱いについて協議を実施する。
-1	消防救急広域化 協議会	一部事務組合設立許可		更に詳細	· 細な調整 ·	協議会解散	・幹事会及び専門部会において、更に詳細な調整項目の協議を進め、
平画成	消防通信指令 事務協議会	消防通信指令センター、デジタ		タル無線の整備 協議会解散 共同通信指令 センター運用		協議会解散 共同通信指令 センター運用	・消防の広域化の準備が完了した。 ・消防通信指令センター、デジタル無線設備の整備が完了した。
平成 27 年度 第一 実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている		未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・平成28年1月28日、駿東伊豆地区消防指令・平成28年4月1日、駿東伊豆消防組合が発足		東伊豆地区消防指令	

		全体計	十 画		
戦 略	4市民満足度と財政健全化の両立	を目指す方策の展開	方 策	(4)民間への業務移管の推	<u>————————————————————————————————————</u>
取組事項	①民間移管業務の更なる検討、市の構築 ②窓口業務の委託化に向けた検討 ③清掃業務(ゴミ収集業務)委託 ④斎場管理業務の指定管理制度移	化に向けた検討・推進	所 管 課	行政経営課・建築住宅誌	果・市民課・環境課・幼児教育課
事業の目的		n恵とアイデアでより良い物にしたり、質の高いサービスを提供すると だ図る。	目的達成に 向けた手段	化の可能性を検討し、)、公の施設の管理、日常業務の民間委託 方向性を決定する。 1、清掃業務、斎場業務)については、集
	平成 24 年度	平成 25 年度	3	平成 26 年度	平成 27 年度
	(民間委託の推進) サマーレビュー等での検討 市民提案型民営化制度の検討	サマーレビューでの検討	継続的 モデル 	実施 → 的実施 →	継続的実施 →
全体計画	(窓口業務) 方向性(民営化等)の検討	方向性に基づく実施 →	継続的	実施	継続的実施
	(清掃(ゴミ収集)業務) 収集方法、収集体制に関	する全体的見直しに関する検討・モデル実施	 施等		●収集方法、体制の変更 ●委託(対島地区)実施
	(斎場業務) より効率的な委託化の可能性の検討 	より効率的な委託化の可能性の検討 →	指定	≘管理移行予定	

-			年度計画			中性中央
	実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	── 実施内容
	①民間委託推進・サマーレビュ		サマーレビューによ	- よる検討 	予算査定	・サマーレビュー(事務事業の見直し)の中で検討を実施
	一での検討 (行政経営課)	(部長方針)	(副市長ヒアリング)	(戦略事業会議)		
	·市民提案型民 営化制度構築 (行政経営課)		事例等の情報収集	制度構築に向り	 ナた方向性の検討 	・先進事例等の情報収集・調査研究・制度構築に向けた方向性の検討
	②窓口業務の委 託化の検討 (市民課)		あり方の検討	•	方向性の検証	・事務の効率化、市民サービスの向上・維持の観点から窓口業務のあり方を検討 ・他市の導入事例、費用対効果、民間事業者の提案等を検証
計平画成	③清掃業務の委 託化の検討 (環境課)	委託化に向けた検討			-	・27 年 4 月の環境美化センター、リサイクル施設の供用開始を目途 に、委託化を含めた収集体制を構築するための方向性を検討。 ・清掃業務職員の意向を確認しながら、任用替えの実施
及 24 · 年 実績	④斎場業務の委 託化の検討 (市民課)		より効率的な委託	な委託化の可能性の検討		・他市の状況を調査・研究し、指定管理を含めたより効率的な委託化の可能性を検討
	⑤その他 ・住宅使用料徴 収業務の委託化 (建築住宅課)	・住宅使用料徴 滞納者実態 又業務の委託化			*	・民間業務委託へ向けた基礎資料となる住宅使用料滞納者の実態(滞納額・支払方法・滞納解消意欲等)をデータ化
	⑤その他 ・保育園の民営 委託		民営化実績検証	 	· 研究 	・幼稚園・保育園の再配置等の検討の中で、保育園の民営化について検討
	(幼児教育課)					(24 年度: 実績の検証、保育制度・施設整備等の調査・研究)
		に進捗している り進捗している 遅れている	次年度に 未実施 別紙を参	向けた課題・改善点 照	・修正事項等	

			年度計画			cta tér eta sita	
	実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	実施内容	
	①民間委託推進 ・サマーレビュ ーでの検討		マーレビューによる核	<u> </u>	予算査定	・サマーレビュー(事務事業の見直し)の中で検討を実施	
	(行政経営課)	(部長指示)	(担当者・副市長ヒア) (我哈尹未去哉/			
	・市民提案型民	他市の動向・	」 先進事例等の情報収集	! [・他市の動向・先進事例等の情報収集を行い、調査研究	
	営化制度構築 (行政経営課)			制度構築に向け	- た方向性の検討 	・先進事例等の調査・研究の結果を踏まえ、成果・課題等を整理し、 制度構築に向けた方向性を検討	
	②窓口業務の委 託化の検討		方向性の検討		-	・事務の効率化、市民サービスの向上の観点から窓口業務の改善と方 向性の検討	
	(市民課)					・他市の導入事例、費用対効果、民間事業者の提案等を引き続き検証	
計平画成	③清掃業務の委 託化の検討 (環境課)	委託化の検討		●戦略会議で報告		・清掃業務職員に対して継続した職種変更希望調査や希望者の職種変更試験を実施・上記結果に伴い、任用替えの人数による委託収集圏域や収集ルートまでを含め、継続して検討	
平成25 年度 計画 · 実績	④斎場業務の委 託化の検討 (市民課)		より効率的な委	託化の可能性の検討	 	・サービス向上と経費面での効果がより図られる管理方法を指定管理 を含めて検討(指定管理者導入状況を調査)	
	⑤その他 ・住宅使用料徴 収業務の委託化 (建築住宅課)	民間活用を検討し ている市町の検索	民間活用を検討し ている市町の検索	民間活用を検討し ている市町へのヒ アリング	民間活用を検討 している市町へ のヒアリング	・市営住宅使用料の滞納整理業務に留まらず、市営住宅管理全般についても民間活用の有効性を検討	
	⑤その他 ・保育園の民営 委託 (幼児教育課)	幼稚園統廃合の検 討			*	・幼稚園の統廃合を検討し、幼稚園・保育園の再配置等の検討の中で、 保育園の民営化について検討 (25 年度:保育制度・施設整備等の調査・研究)	
	②計画どお	に進捗している り進捗している 遅れている	次年度 (未実施 別紙参照	」 に向けた 課題・改善点 ^領	・修正事項等		

			年度計画			the tife eth size
	実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	· 実施内容
	①民間委託推進・サマーレビュ一での検討	サー (部長指示)	マーレビューによる	+	予算査定	・サマーレビュー(事務事業の見直し)の中で検討を実施
	(行政経営課)		(担当者・副市長ヒ	ア) (戦略事業会議)		
	· 市民提案型民 営化制度構築 (行政経営課)	モデル事業の検討	(提案者・担当課と	☆ モデル事業の	 審査・予算化 	・モデル事業の実施に向け提案者及び担当課と協議
	②窓口業務の委 託化の検討	方向性検討		委託導入事例の	検証	・事務の効率化、市民サービスの向上の観点から窓口業務の改善と 方向性の検討
	(市民課)	-				・他市の導入事例、費用対効果、民間事業者の提案等を引き続き検
計平画	③清掃業務の委 託化の検討	委託化の検討		●戦略会議で報告		・清掃業務職員に対して継続した職種変更希望の相談対応 ・職種変更試験を継続して実施
成	(環境課)				>	・任用替え等で減員となった人数による費用対効果を検証しながら 一部民間委託を継続して検討
26 · 年度 積	④斎場業務の委 託化の検討 (市民課)		 より効率的な委託・ 	 比の可能性の検討	-	・サービス向上と経費面での効果がより図られる管理方法を指定管理を含めて検討(指定管理者導入状況を調査)
	⑤その他 住宅管理運営業 務の委託化 (建築住宅課)	民間委託移行	 	 長等のデータ化 	民間委託実施計画	・静岡県住宅供給公社が県内市町の公営住宅管理受託の検討・上記公社を含め民間委託移行作業に必要な市営住宅のデータ化及びデータ整理
	⑤その他 ・保育園の民営委託 (幼児教育課)	調査・検討			-	・富士見保育園の民営化について、調査・検討 (26年度:幼稚園との統廃合検討、土地・施設整備費用の算出、 さくら保育園の移転等の検討)
	②計画どお	に進捗している り進捗している 遅れている	次年度 未実施 別紙参	 に 向けた課題・改善点 照	・修正事項等	

			年度計画			中性中等
	実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	実施内容
	①民間委託推進 ・サマーレビュ 一での検討 (行政経営課)	/ 	 マーレビューによる 担当者・副市長ヒ		予算査定	・サマーレビュー(事務事業の見直し)の中で検討を実施
	· 市民提案型民 営化制度構築 (行政経営課)	他市の動向・先進	事例等の情報収集 		-	・他市の動向・先進事例等の情報収集、調査研究
	②窓口業務の委 託化の検討 (市民課)	委託導入事例の検証 民間事業者の提案等		窓口業務体制の方向:	决定	・他市の導入事例、費用対効果、民間事業者の提案等を引き続き検証した。・窓口業務委託の方向性を検討した。
計 平 域 27 ·	③清掃業務の委 託化の検討 (環境課)	収集体制の変更、	. 構築	一部地域(対島	地区)委託化	・対島地区(第5地区)の委託化を実施した。 ・ペットボトルの分別収集を組み入れた、新たな収集体制を構築し た。
成 27 · 年度 績	④斎場業務の委 託化の検討 (市民課)		より効率的な委託 	と化の可能性の検討 	-	・サービス向上と経費面での効果がより図られる管理方法を指定管 理者制度を含めて検討した。
朴 良	⑤住宅管理運営 業務の委託化 (建築住宅課)	化		 居者台帳等のデータ化 記実施計画		・静岡県住宅供給公社との公営住宅管理委託業務の協議は滞っているが、新システムへの移行に伴い、住宅管理のデータ化とデータ整理は推進している。
	⑤その他 ・保育園の民営委託 (幼児教育課)	調査・検討			*	・富士見保育園の民営化について、調査・検討の実施。
	②計画どお	に進捗している り進捗している 遅れている	次年 。 未実施 別紙	ー 度に向けた課 題・改善点 参照	・修正事項等	

	実施項目		実績				
	①民間委託推進 ・サマーレビュ ーでの検討 (行政経営課) ・市民提案型民 営化制度構築 (行政経営課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 (サマーレビュー) ・事務事業の見直しの中で委託等調書の様式を一部変更し、集中的に委託化・民営化等の検討を実施する。				
	②窓口業務の委 託化の検討 (市民課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	・数社に依頼した委託の見積について検証を行ったが、費用面において現状より効果的なものはなかったため、 方向性について引き続き検討が必要				
平成 実績 24 年度	③清掃業務の委 託化の検討 (環境課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	・清掃業務職員に対して行政経営課をとおして職種変更希望調査を実施・職員の減員による委託収集圏域の検討を実施・民間委託による収集と職員による直接収集の人件費・作業システム等の比較検討を実施、引き続き委託に向けた検討を行う。				
度	④斎場業務の委 託化の検討 (市民課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	・数社に依頼した委託の見積について検証を行ったが、費用面において現状より効果的なものはなかったため、 方向性について引き続き検討が必要。				
	⑤その他 ・住宅使用料徴 収業務の委託 化 (建築住宅課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	・退去未納者データを基本に未納整理業務の民間活用を実施または検討をした市町を検索し、ヒアリングを行い、 伊東市での有効性を見極める。				
	⑤その他 ・保育園の民営 委託 (幼児教育課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	・幼稚園の統廃合を進める中で、幼稚園・保育園の再配置を検討していくことが必要となる。・保育園の民営化については、公立保育園と民間保育園が切磋琢磨しあいながら子育て支援を推進していく関係が構築されているため、新たな子ども子育て支援制度を踏まえて引き続き検討していく。				

	実施項目	実績							
	①民間委託推進 ・サマーレビュ ーでの検討 (行政経営課) ・市民提案型民 営化制度構築 (行政経営課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・(サマーレビュー)事務事業の見直しの中で引き続き検討する。 ・(市民提案型民営化制度)先進事例等の情報収集に努める。						
	②窓口業務の委 託化の検討 (市民課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	・他市の委託状況を調査するとともに視察を実施 ・委託職員が行える業務区分をもとに、市職員が行う業務との実務的なすみわけを明確にする。委託業務内容と それにかかる人員から費用面での効果を測定する。						
平成 25 年度	③清掃業務の委 託化の検討 (環境課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	・ごみ収集業務の一部民間委託化の検討の中で、収集地区ごとの委託、収集品目ごとの委託化や収集車両1台たりの委託等々の検討を継続。・収集体制の見直しを実施。						
度	④斎場業務の委 託化の検討 (市民課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	・平成24年度の全国の指定管理者導入状況を調査。 ・他自治体で斎場の指定管理者実績のある事業者に見積りを依頼し、費用面での効果測定を行う。						
	⑤その他 ・住宅使用料徴 収業務の委託 化 (建築住宅課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	・市営住宅業務全般について、住宅管理実績を有する県住宅供給公社に対し委託内容等検討を始めた。・公営住宅管理の民間委託への移行に伴う準備や膨大な資料データーの整理等に係る人員の確保が急務となっている。						
	⑤その他 ・保育園の民営 委託 (幼児教育課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	・平成 26 年 4 月から伊東幼稚園と湯川分園の統合が決定し、伊東幼稚園への統合となる。また、入園数の推移を見極め今後とも幼稚園の統廃合を検討していく。また、民営化を含め子ども・子育て支援新制度の状況を確認しながら保育園・幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行を検討する。						

	実施項目		実績
	①民間委託推進 ・サマーレビュ ーでの検討 (行政経営課) ・市民提案型民 営化制度構築 (行政経営課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・(サマーレビュー) サマーレビューでの協議の結果、ごみ収集業務の一部について、27 年度中に民間委託化が 実現することとなったが、事務事業の見直しの中で引き続き検討する。 ・(市民提案型民営化制度) 先進事例等の情報収集に努める。
	②窓口業務の委 託化の検討 (市民課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・他市の導入例、費用対効果、民間事業者の提案等を引き続き検証する。
平成 26 年度	③清掃業務の委 託化の検討 (環境課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・ペットボトルのステーション収集と一部(対島)地区の収集委託事業を円滑に導入するため、効率的・効果的な収集体制を構築するとともに、広報や説明会の開催等により同事業の周知に努める。
度	④斎場業務の委 託化の検討 (市民課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・サービス向上と経費面での効果がより図られる管理方法を指定管理者制度を含めて検討する。
	⑤その他 ・住宅使用料徴 収業務の委託 化 (建築住宅課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・市営住宅管理業務の民間委託への移行に伴う具体的な移管業務への取り組みや、新電算システムへの市営住宅の管理データの移管業務や整理業務の人員が不足している。
	⑤その他 ・保育園の民営 委託 (幼児教育課)	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・富士見保育園の民営化については、園舎建設から 27 年が経過し、民営化においては改築する必要があり、併せて土地の使用について玖須美財産区との協議が必要となる。さくら保育園の移転についても検討を行う必要がある。

	実施項目		実績
	①民間委託推進 ・サマーレビュ ーでの検討 (行政経営課) ・市民提案型民 営化制度構築 (行政経営課)	実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画通り進捗している	年度に向けた課題・改善点・修正事項等 (サマーレビュー) サマーレビューでの協議の結果、ごみ収集業務の一部について、27 年度中に民間委託化が 実現した。民間委託推進については、事務事業の見直しの中で引き続き検討を進める。 (市民提案型民営化制度) 我孫子市等、他市の事例について情報収集を行った。市民提案型民営化制度につい ては、いとう創造大賞事業との連携も視野に入れ、引き続き研究は進めていきたい。
	②窓口業務の委 託化の検討 (市民課)	実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している ③計画より遅れている	年度に向けた課題・改善点・修正事項等 サマーレビューでの協議により、他市導入事例、費用対効果、民間業者の提案等を引き続き検討し、28 年度に は委託の方向性について決定することとした。 評価を計画より遅れているとしているが、平成 28 年度から平成 32 年度を取組期間とする新たな伊東市公共経 営改革大綱に基づき、引き続き取り組んでいく。
平成 実績 年度	③清掃業務の委 託化の検討 (環境課)	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	年度に向けた課題・改善点・修正事項等 第1地区から第4地区までの地区ごとの新たな委託化や、粗大ごみ及び新たな分別品目ごとの委託化の検討を 開始する。
度	④斎場業務の委 託化の検討 (市民課)	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	年度に向けた課題・改善点・修正事項等 サービス向上と経費面で、より効果が図られる管理方法を検討し、従来どおりの業務委託による管理方法とし た。
	⑤その他 ・住宅管理運営 業務の委託化 (建築住宅課)	実施 ①計画以上に進捗している ②計画通り進捗している 未実施 ③計画より遅れている	年度に向けた課題・改善点・修正事項等 住宅供給公社との協議は滞っているため、具体的な内容についての検討ができない。 住宅管理については、新システムへの移行が完了したので、データ確認・整理を引き続き行い、民間委託への 準備を進めていく。 評価を計画より遅れているとしているが、平成 28 年度から平成 32 年度を取組期間とする新たな伊東市公共経 営改革大綱に基づき、引き続き取り組んでいく。
	⑤その他 ・保育園の民営 委託 (幼児教育課)	実施 ①計画以上に進捗している 未実施・	年度に向けた課題・改善点・修正事項等 富士見保育園を民営化するにあたっては、併設されているさくら園移転の検討が必要であり、併せて南幼稚園 富士見分園を含めた認定こども園の検討を行う必要がある。

	全体計画											
戦	略	4市民満	2の両立を目指す			策	(5)長期的視点に立った社会資本の再編・更新					
取績	祖事項	①小学校、中学校、幼稚園、保育園の施設配置及び給食施設等のあり 方についての検討、方向性の提示					果	教育総務課(教育政策係)				
事業の目的		・児童・生徒の良好な教育環境を確保し、充実した学校教育を実現する。					汐達成に けた手段 ・学校規模の適正化の検討 (学区の見直し、学校施設の総		討 (学区の見直し、学校施設の統廃合等)			
			平成 24 年度		平成 25 年度		3	平成 26 年度	平成 27 年度			
全任	本計画	・学校規模を適正化する必要性の検討		の検討・理想とす	・理想とする学校規模の検討		ち針の:	倹 討	・適正化計画の策定			
		年度計画						実施内容				
	実	施項目 第1四半期 第		第2四半期	第3四半期 第3四半期 第			スルピアンロ				
		体におけ 事例の研	事例収集	モデル事例の選定 モデル事例視察	2			・5つある中学校区を基盤とし、地域単位での人口動態に基づく将著				
計 平 成 24 ·	コスト 検討	面からの			老朽化を踏まえた施設維持管 理費の今後の見通し算定		-		る保護者ニーズ等を把握した上で、学校 拠)を固めるとともに、本市が進めるべ			
24 • 実績		校施設管 り方検討		1.37		学校規模を 適正化する 必要性の確 ●	認	・適正化に当たっては、幼稚園から小学校、小学校から中学校に上 がっていくことを踏まえ、幼稚園担当課(幼児教育課)との連携 を図りながら、プロジェクトチームを立ち上げ、次年度以降の方				
		規模や集団 対する保護 同の把握 ■ 調査方法の検討 調査の実施		集計		と図りなから、プロジェク 計策定に繋げた	ドリームを立り上け、仏平及以降の万					



評価

実施 1 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している

③計画より遅れている

次年度に向けた課題・改善点・修正事項等

・平成26年1月に学校施設管理のあり方検討会を開催。「学校施設の適正配置について」を議題として議論を交わすとともに、本 テーマを今後の議題の中心としていくことを確認するなど、今後につながる進展はあったが、検討会は2回開催を計画していた。 ところ1回のみの開催となり、また、想定ケースの具体的な検討までには至らなかったなど、当初の計画より進捗が遅れた。

			十画			実施内容				
	実施項目	第1四半期	第2四	半期	第3四半期	第4四半期	スルド・カー			
	適正配置の想定 ケースの検討		市内通学∜ 施 (10· ◀			沼津小中一貫校 視察 (2月) ●	・「文科省が統廃合基準を 58 年ぶりに見直す」旨の新聞報道が H26.5 月に出されたことを受け、上半期は新基準の情報収集に努めた。			
計	学校施設管理の あり方検討会				第 1 回会議 (12 月) ●	第2回会議 (3月) ●	・新基準の発表が大幅に遅れる情報を得て、先行して通学調査や検 討会を開催した。 ・H27.1月『手引』という名の新基準が発表され、当該内容の分析を			
平成26年度	新たな検討組織 の検討		の新基準に対 る情報収集	寸	国のセミナー 参加 → ●	文科省手引 (1月) ●	急ぐとともに、今後の展開について第2回のあり方検討会で意見 交換を実施した。			
度実				次年度に	向けた課題・改善点	• 修正事項等				
績	評価			• 平成 2	7年1月27日に文部	科学省が「公立小学	校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定し、新たな検討組織の			
	実施 ①計画以上	に進捗している	未実施	必要性が示された。その後、3月に開催した学校施設管理のあり方検討会にて、学校施設の適正配置や統廃合を検討する新組織						
	<u> </u>	り進捗している		の設立方針は定まったものの、具体的な組織設立まで至らなかったなど、当初の計画よりも進捗が遅れた。						
	_③計画より	遅れている		・当該手引によると6学級である東小・川奈小・富戸小・池小については、「課題があり、学校統合等の適否を速やかに検討する必						
			T	要がある」とされていることから、早期に新組織を設立し、学校規模の適正化、適正配置等の検討を進めていく。						
	新たな検討組織 検討範囲の検討			要綱の制定・推薦依頼 等			・平成27年1月27日に文部科学省が策定した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を基に、学校施設管理			
	学校施設管理の	4			12 月開催		のあり方検討会での意見を踏まえつつ、適正配置に向けた新たな			
	子校施設官理の				12月開催		組織を立ち上げ、3月24日に第1回目の会議を開催した。			
	新たな検討組織					3 月開催	フルチェルー マートの出上し、四点とおきマエルーがよい人			
計	の開催					3月開催	討組織は、幼稚園・保育園を含め、一体的・横断的な検討を図り、			
平 画 成 27 •	適正配置の検討		市民意向調査の実施			検討の進め方	市民や地域の実情に応じた魅力・活力ある環境づくりを目指すこ			
27 •	週上記画の授制		←			←	ととした。			
年度実績				次年度に	-向けた課題・改善点	• 修正事項等				
人	 評 価			• 平成 2	7年度の早い段階で新	fたな検討組織を立ち	5上げるとともに、会議も複数回開催し、検討を深めていく計画であったが、市民			
	▎█▘ │ 実施│①計画以上	未実施	意向調	間査を実施したり、検	討対象や検討の進め	方についての内部協議に時間を費やす中、年度末に1回開催する形となった。				
	②計画どお	小天池	今後は	、学校・園において飼	解消した方が良いと	思われる問題点や適性化に向けた基本的な方向性などについて、平成 29 年度を目				
	③計画とお		途に教育委員会に対して建議するため、継続的			に検討を進めていく。				
						28 年度から平成 32 年度を取組期間とする新たな伊東市公共経営改革大綱に基づ				
				き、引き続き取り組んでいく。						

	全体計画											
	戦	略	4市民満足度と財政健全化の両立を目指す方策の展開							(5)長期的視点に立ったれ	社会資本の再編・更新	
	取組	事項	①小学校、中学校、幼稚園、保育園の施設配置及び給食施設等のあり 方についての検討、方向性の提示					所管課		教育総務課(教育政策係)		
事業の目的			・児童・生徒の良好な教育環境を確保し、充実した学校教育を実現する。						に段	• 子がなるだけ(ノ)めい カリカリカー		
				平成 24 年度		平成 25 年度			7	平成 26 年度	平成 27 年度	
	全体	計画	・伊東市学 決定	校給食の今後の運営	営方針の ・調理場の集約(小学校)の試行 ・栄養士業務の集約の試行			・調理場の集約(小字校)の本格実施 業務の集約状況を踏まえ		・小学校給食における調理場の集約と栄養士 業務の集約状況を踏まえ、未実施校におけ る中学校給食実施に向けた検討		
	Г			Adm . — 444 UM	年度計画		1	宝 施内空		実施内容		
L		実施項目		第1四半期	第2四半期	2四半期 第3四半期		4四半期			V	
		学校給食運営計 画の策定 現状把握		課題抽出	計画策定 ◆ 教育委員会				・栄養士部会等で学校給食現場における研究を重ね、本市における 小学校給食の当面の課題である調理員の減少及び栄養士の減員			
	라	同調理	(東小共 !場)の実		提案	了承	•			に対応できる運営体制の確保策として、教育委員会において伊東 市学校給食運営計画を策定した。		
	計 平 画 或	現 #マ		サマーレヒ゛ュー	だュー 戦略会議		3月市議会		計画では、平成25年度と平成26年度の2か年において、調理			
T:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		対する関 の協議	栄養士	W * 1 La ^ La - La		委員協議会		ĭ	場の集約と栄養士業務の集約を段階的に進め、本市の新たな給負 運営に着手するとともに、今後における中学校給食の実施を見掛 えた体制づくりを目指すこととした。		
			小学校給食の現場を踏まえた実施 また実施 またり おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる おりまれる かっぱい はんしん かいかい はんしん かいがく かいかい はんしん かいがく かいがく かいがく はんしん かいがく かいがく はんしん かいがく かいがく はんしん かいがく はんしん かいがく かいがく はんしん かいがく はんしん かいがく はんしん かいがく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし					-方式による に向けた検 	3	奈小学校給食の親子方式に	平成25年度の新規事業に「東小・川 よる民間委託導入」をサマーレビュー 市としての方向性を確認した。	

平成 24 年度 計画 · 実

評価

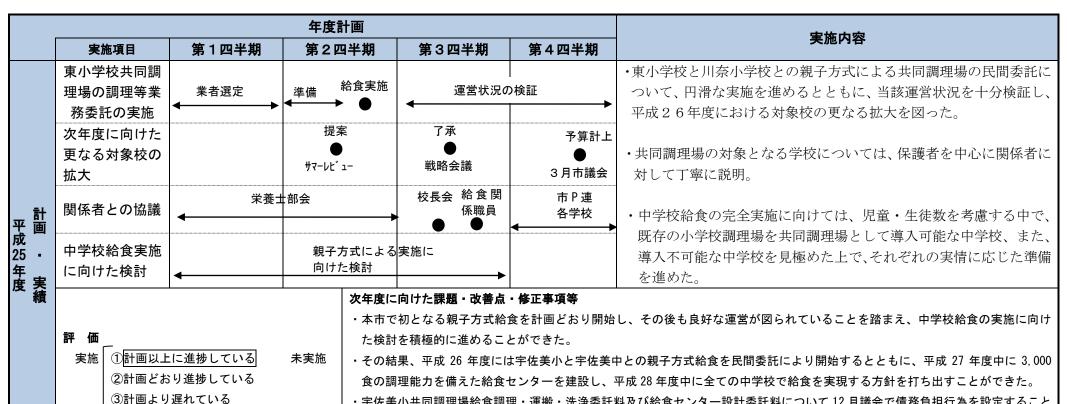
実施

①計画以上に進捗している

- ②計画どおり進捗している
- ③計画より遅れている

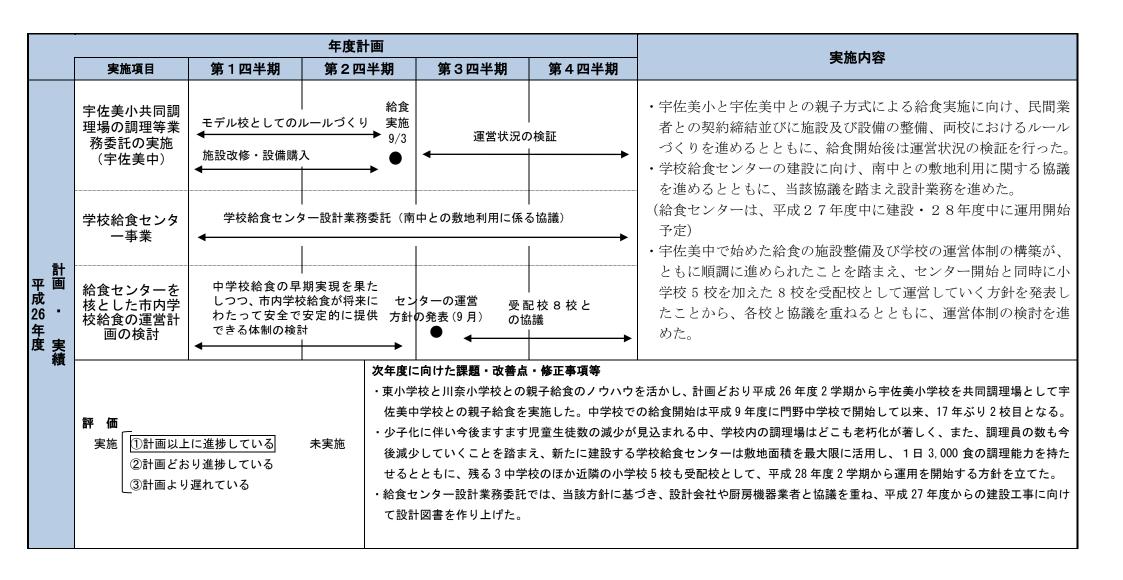
次年度に向けた課題・改善点・修正事項等

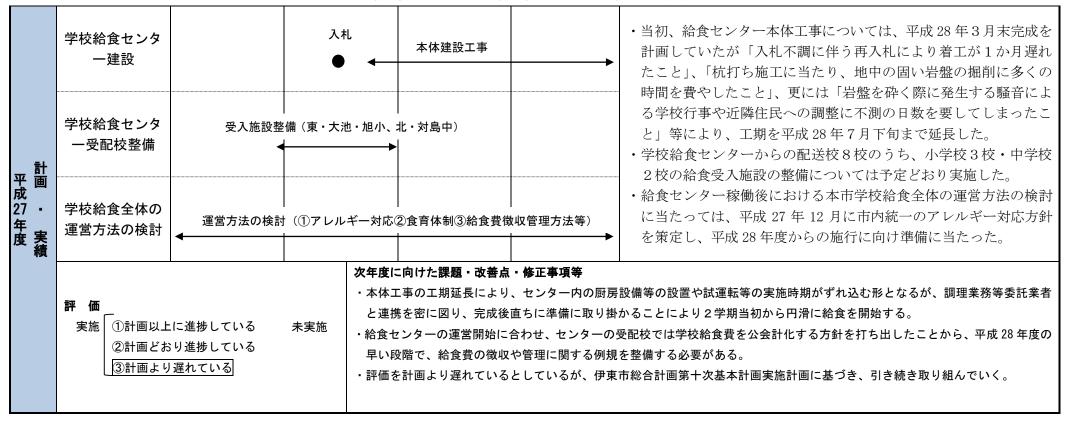
- ・当初の計画では、「教育施設の適正配置」と「学校給食のあり方検討」の2つのテーマを合わせた検討を進める予定であったが、 小学校給食においては「教育施設の適正配置」と一線を画した形で学校給食運営計画を策定し、2つのテーマのうち「学校給食の あり方検討」を先行実施したため、計画以上に進捗している。
- ・東小学校と川奈小学校との親子方式による共同調理場の民間委託について、円滑な実施を進めるとともに、当該運営状況を十分検証し、平成26年度における対象校の更なる拡大を図る。
- ・中学校給食実施を目指す第2ステージにおける実施計画の検討を同時並行で進め、実施内容及び実施時期の見極めを行う。



未実施

・宇佐美小共同調理場給食調理・運搬・洗浄委託料及び給食センター設計委託料について 12 月議会で債務負担行為を設定することにより、平成 25 年度内に各委託業者のプロポーザル選考を行うなど、計画以上に進捗を果たしている。

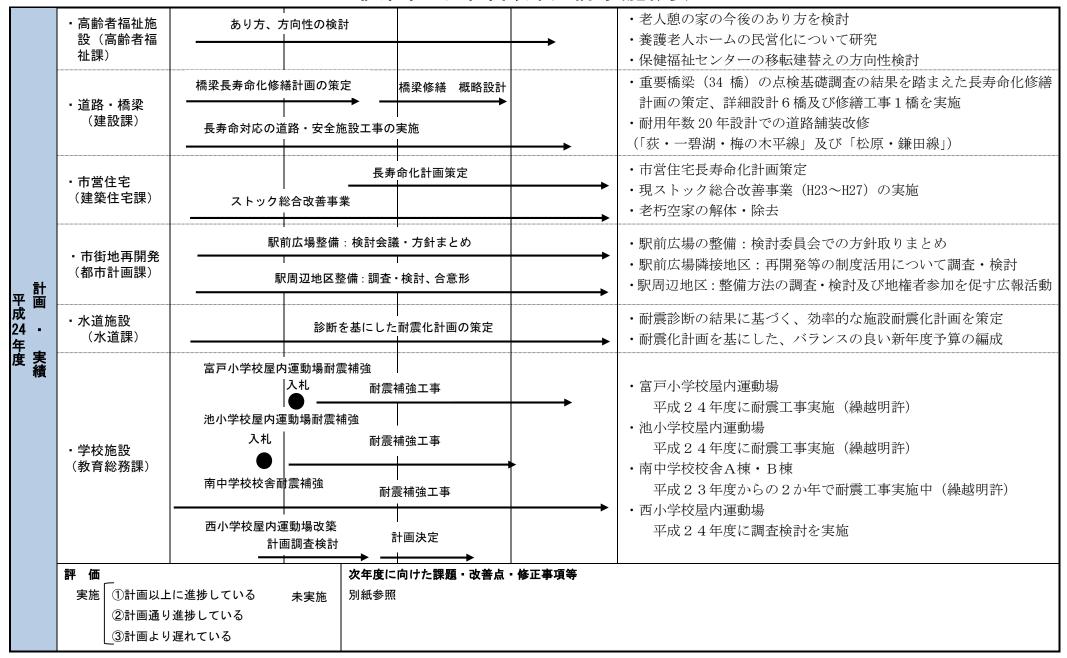




						全	体言	十画				
戦	略	4市民満	足度と財政健全化の	の両立	を目指す方	策の展開		方	策	(5)長期的視点に立った社会	会資本の再編・更新	
取組	事項		①小学校、中学校、幼稚園、保育園の施設配置及び給食施設等のあ 方についての検討、方向性の提示				あり	所 管	課	幼児教育課		
事業0	・保育園、幼稚園職員間の相互交流の推進 ・幼稚園の統廃合を含めた保育園、幼稚園の施設の見直し				施設の見直し		目的達 向けた					
			平成 24 年度			平成 25 年度				平成 26 年度	平成 27 年度	
4	計画			保幼一体化抗	保幼一体化施設の制度検討			実施に向けた調整				
土体		_		保幼職員の村	R幼職員の相互実習 ▶		保幼職員	保幼職員の相互交流				
	_											
			A		度計画		-	!!=				
	実	施項目 第1四半期 第2		2四半期	第3四半期 第4四半		4四半期					
≘ ∔	調査	保幼一体化施設の 調査・研究								も園等の制度について調査、研究。		
平成 24 · 実	職員相実施	哉員相互研修の 実施			保育園・幼稚園の 制度・実情把握				・保幼職員の相互交流実施に向け、前段階として保育園、幼稚園の制度、実情を職員が把握			
度実績	評価 実施	実施 ①計画以上に進捗している 未実施			・子ども	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・子ども・子育て支援新制度の情報収集や説明会に参加し、実情把握に努めた。 ・幼稚園の統廃合を進める中で保幼一体化施設等の検討をしていく必要がある。						
	②計画どおり進捗している・幼稚園の統廃合を進める中で保幼ー③計画より遅れている・保幼職員の相互実習を1年前倒し実					., ., .,						

	-			年度記	計画			date + da
	実加	拖項目	第1四半期	第2四	9半期	第3四半期	第4四半期	- 実施内容
計平画成	調査・研究職員相互研修の実施		保幼一体化施設の 調査・研究 保育園・幼稚園の 制度・実情把握				*	・保幼一体化施設、幼保連携型認定こども園等の制度について調査、研究・保幼職員の相互交流実施に向け、定期的な相互実習を実施し、制度、実情を職員が把握
平成25年度 実績	実施		に進捗している	未実施	・子ども研究を	進めていく。	については不透明な	内容となっているため具体的な制度把握の中で幼保連携型認定こども園等の調査、 長の相互交流や定期異動人事についても検討していく。
平画成26	保幼	に向けた 間整 職員の 証交流	ニーズ調査の分析 園長検討会 若手職員研修	子育て会記 計画策定 	議開催 		>	・国の子ども・子育て支援法によるニーズ調査を行い、その分析結果に基づき子ども・子育て支援計画を策定 ・園長同士の検討会、若手職員の相互職場研修を実施
平成26年度	実施	②計画どお	に進捗している り進捗している 遅れている	未実施	· 伊東市 業計画	画」し、公表した。今	を8回開催する中で 後は、計画内容の進	、ニーズ調査の結果を反映した5か年計画による「伊東市子ども・子育て支援事 排状況について確認していく。)実施する中で保幼相互の保育内容等の理解に努めた。
計平画	保幼	・研究 職員の 証交流	認定こども園の調 査・研究 若手職員研修				→	・認定こども園の対象地区、施設規模等の検討を実施・保幼職員の定期的な相互実習を実施
平成27 年度 調 · 実績	評価 実施	②計画どお	に進捗している り進捗している 遅れている	未実施	・認定 こ あるた ・保幼職 ・保幼職	こめ、引き続き平成 2 戦員の相互研修は、1 戦員の相互研修は、平	運営方針、教育・保 8 年度においても調査 人年 2 回(対象職員 成 28 年度において・ しているが、平成)実施する中で保幼相互の保育内容等の理解に努めた。

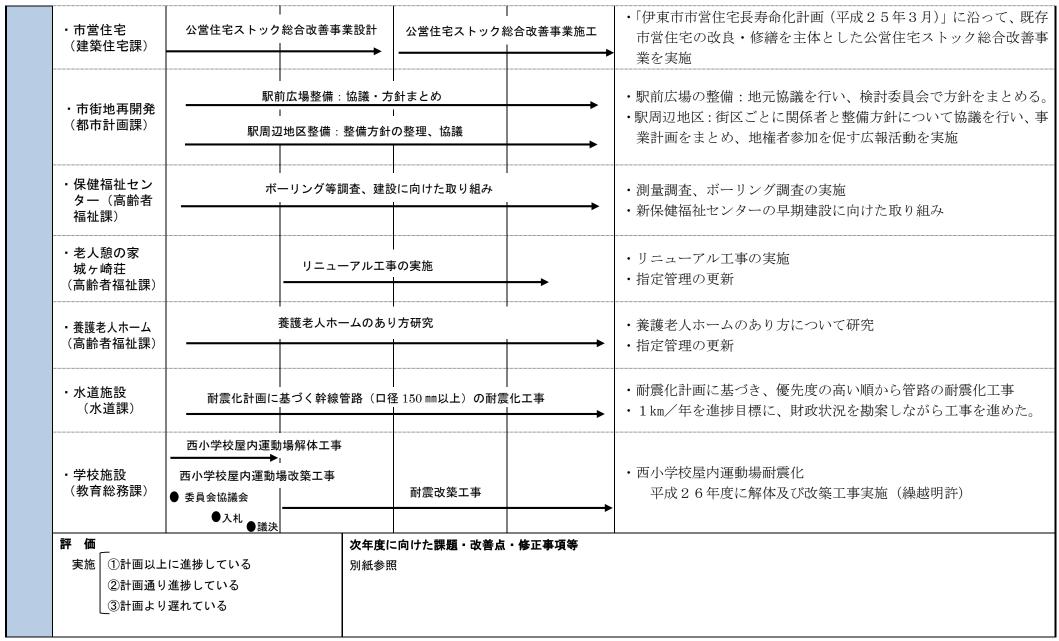
					全体	本計画	画			
戦	略	4市民満	足度と財政健全化の	の両立を目指す方気	策の展開	7	方 策	(5)長期的視点に立った	社会資本の再編・更新	
取組	事項		②社会基盤・施設(道路、橋梁、交流・学習施設等)の全体的視点 らの効果的・計画的な修繕・更新・再編の推進、長寿命化の取組 化					行政経営課・財政課・(施設所管各課)		
事業の	本市保有のファシリティ(土地・施設・設備等)を、市民共有の財産、また経営資源として捉え、常に最適な状態を保ち、総合的な有効活用ができるようマネジメントシステム(経営管理)を構築する。			5 田 📙	目的達成に 向けた手段	理	ジメントの視点に立った基礎情報の再整政協議を通じた全市的視点での調整			
			平成 24 年度		平成 25 年度			平成 26 年度	平成 27 年度	
全体	計画	基礎情報の再整理 情報更新				調整	}	^{迷続的実施} ──────	継続的実施 →	
	実	施項目	第1四半期	年度計画 第2四半期	第3四半期	第4四	1半期	<u>実</u> 施内容 朝		
	一・販	ーレビュ 政協議で) 調整		サマーレビュー	財政調整			サマーレビューを通じて グ	、各課所管施設の見直しについてヒアリン	
	基礎情	報の収集			-			施設、土地に関する基礎 (修繕・設備に関る履歴・	情報の整理 計画、活用状況等の台帳整理)	
平計		<i>6/</i> 2 TII	小規模修繕(随時)					建設から16年が経過し	ていることに伴う経年劣化に対応するた	
平成24年度	・庁舎管理 (庶務課)				維持管理計画策定に	句けた調査	宜	め、維持管理上必要な修 計画的かつ効果的に維持 策定に向けた調査を実施	繕を実施 管理に資するため、中長期的な保全計画の	
	• 美化 (環境	ンセンター 課)	新炉建設の各種許 	認可申請 	2 号炉建設工事			・8月より新2号炉の建設工事に着手 ・既設焼却炉2炉の運転管理業務の継続		
	• 東松 (市民	(原連絡所 課)	存続・移転(候	補地選定)の検討・調	周査			東松原町連絡所の存続・	移転について調査・検討	



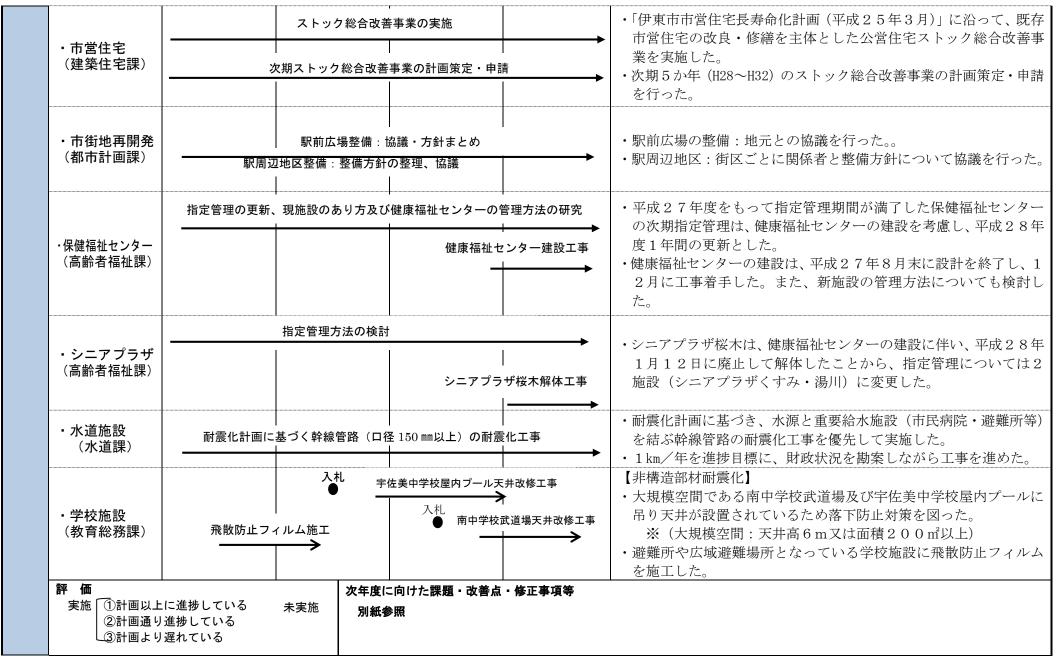
			年度計画			中作力类
	実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	実施内容
	・サマーレビュー・財政協議での調整 (行政経営課)		サマーレビュー	財政調整		・サマーレビューを通じて、各課所管施設の見直しについてヒアリング
	・基礎情報の収 集(財政課)		_			・施設、土地に関する基礎情報の整理 (直近の決算データを反映させ、減価償却処理等を実施して前年度末 現在の財産台帳を整備)
		小規模修繕(随時)				・経年劣化に対応するため、維持管理上必要な修繕を実施
	• 庁舎管理 (庶務課)	广舎維持管理計画第 ————————————————————————————————————	 	广舎維持管理計画 ————————————————————————————————————	(案)の策定 	・調査結果をもとに、中長期的な庁舎維持管理計画の策定に向けた検討
<u> </u>	・環境美化セン					・新2号炉が8月に完成・性能試験を行い、運転開始
	ター2号炉建設 (環境課)	新 2 号炉建設工事	●性能試験	現2号炉解体工事	★ 新 1 号炉建設工事	・新2号炉の運転開始後、現2号炉の解体・撤去工事を施工 ・新1号炉の建設工事に着手
平成25 年度 計画·実績	・リサイクル施設建設					・運転管理業務(現2号炉(4月~7月)、現1号炉、新2号炉(8 月~3月)
年 美度 績	(環境課)	リサイクル施設建設	工事			・リサイクル施設の建設工事に着手
	・東松原町連絡 所(市民課)	存続	移転(候補地選定)	の検討・調査	-	・東松原町連絡所の存続・移転について調査・検討 ・ふれあいセンターを候補の一つとした。
	・高齢者福祉施 設(高齢者福 祉課)	あり方、 -	 方向性の検討 		-	・老人憩の家の耐震診断を実施し、今後の施設のあり方を検討 ・養護老人ホームの民営化について研究 ・保健福祉センターのあり方について方向性検討
			橋梁修繕 詳細設調	 	多 善	・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、詳細設計 9 橋及び修繕工事 1 橋を
	・道路・橋梁 (建設課)		長寿命対応の道跡	► 格・安全施設工事の写	<u>───</u> 其施	実施 ・耐用年数20年設計での道路舗装改修
	(姓政林/	点検調査(29 橋)			(「荻・一碧湖・梅の木平線」) ・市道1・2級幹線10m未満橋梁

	· 市営住宅 (建築住宅課)	ストック総合改善 事業の実施	ストック総合改善 事業の実施	ストック総合改善 事業の実施	ストック総合改 善事業の実施	・ストック総合改善事業による市営住宅の改良・修繕を計画どおりに 実施する。 ・長寿命化計画を見据えた計画の修正・精査を行う。		
平成25年度計画 - 実績	+ /- - 1.1. 111 - 2 .	駅前広場整備:協議・方針まとめ				・駅前広場の整備:地元協議を行い、検討委員会で方針をまとめる		
	· 市街地再開発 (都市計画課)	駅周辺地区整備:整備方針の整理、協議			-	・駅周辺地区:街区ごとの特徴に合った制度を整理し、関係者と整備 方針について協議を行う。また、地権者参加を促す広報活動を行う。		
	・水道施設 (水道課)	耐震化計画に基・	づく幹線管路(口径	150 mm以上)の耐震化	:工事 	・耐震化計画に基づき、優先度の高い順から管路の耐震化工事を実施 (耐震化工事延長638m)。 ・H25-H27で3km以上の施工を目標に、財政状況を勘案しながら工事を進めた。		
	• 学校施設 (教育総務課)	西小学校屋内運動場 現地確認調 西小学校屋内運動場 委員会協議会 入札	査 鑑定書作成	ヒアリング	•	西小学校屋内運動場耐震化 ・国交付金補助申請に係る耐力度調査(鑑定)の実施 ・改築工事実施のための設計業務委託の実施		
	②計画通り	に進捗している 進捗している 遅れている	次年度に 未実施 別紙参照	向けた課題・改善点	・修正事項等			

			年度計画			実施内容	
	実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	美胞闪 奋	
	サマーレビュ ー・財政協議で の調整		サマーレビュー	財政調整		・サマーレビューを通じて、各課所管施設の見直しを実施	
	行政経営研究会 (仮称)参加	設置 ● 	研究会(部会)		成果・公表	・市町と県の共通する行政課題の解決に向け、市町・県等が連携して 設置する行政経営研究会に参加し、ファシリティマネジメントを 推進	
	・基礎情報の収 集(財政課)				-	・施設、土地に関する基礎情報の整理 (直近の決算データを反映させ、減価償却処理等を実施して前年 度末現在の財産台帳を整備する。)	
計平画		小規模修繕(随時))			・経年劣化に対応するため、維持管理上必要な修繕を実施	
灰 26 · 年	・庁舎管理 (庶務課)	庁舎維持計画 (案) の策定			随時) 	・調査結果をもとに、中長期的な庁舎維持管理計画の策定に向けた 討	
度実績	・環境美化セン	新 1 号炉建設工事	現1号	├────────────────────────────────────		・新1号炉が7月に完成・性能試験を行い、供用開始	
	ター1号炉建設 (環境課)		●性能試験	ごみピット改修工事	●総合性能試験	・新1号炉の運転開始後、現1号炉の解体・撤去工事を実施 ・ごみピットの改修工事を実施予定 ・総合性能試験を2月に実施	
	· 東松原町連絡 所(市民課)	·····································	 字続・移転(候補地選 	 定)の検討・調査 	-	・東松原町連絡所の存続・移転について調査・検討の結果を踏まえ、 移転先の候補地を検討。	
		定	期点検調査(9 橋)	橋梁修繕コ	L————————————————————————————————————	・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁4橋の修繕工事を実施	
	・道路・橋梁 (建設課)		長寿命対応の追	路・安全施設工事の	実施	・橋梁長寿命化修繕計画に基づく定期点検を9橋実施・耐用年数20年設計での道路舗装改修及(「吉田道線」、「惣堂坂線」)	
	, - BC PIT/		法面・盛土等点検			・道路ストック総点検	



			年度計画			ce the choice	
	実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	- 実施内容 	
	サマーレビュ ー・財政協議で の調整	一・財政協議で		財政調整		・サマーレビューを通じて、各課所管施設の見直しを実施 ・市町と県の共通する行政課題の解決に向け、市町・県等が連携して	
	ト(FM)研究会参			-	設置する行政経営研究会(FM 研究会)に参加し、県及び他市町の 取組方法等を研究		
	・公共施設等総	施設・	土地に関する基礎情報 	· 弱の整理 	-	・施設及び土地に関する基礎情報の整理を継続するとともに、伊東市	
	合管理計画策定 (財政課) 	_	公共力	□ 施設等総合管理計画 <i>0</i> □) D策定 	公共施設等総合管理計画を策定した。	
	・庁舎管理	小規模修繕(随時)				・経年劣化に対応するため、維持管理上必要な修繕を実施 ・今後5年以内又は10年以内に修繕が必要な設備及び費用の更新	
平画成	(庶務課)	修繕 	╹ の必要な設備及び費用 ├	' 引の更新調査の実施 ├	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	調査を実施し、中長期的な保全に向け検討・	
平成 27 · 実績	・環境美化セン ター焼却炉 (環境課)	新焼却炉0	新焼却炉の安定的稼働と長寿命化の研究			・新焼却炉の安定的な運転管理を実施した。 ・廃ペットボトルの分別収集を開始し、Aランク品質のベール品に資	
	・リサイクル施 設(環境課)	廃ペット	 - ボトルの安定的な中 	間処理	-	源化した。	
	・東松原町連絡 所(市民課)	移転先の決定 →	移転スケジ <i>:</i>	ュールの決定 	移転(1月12日)	・移転先及び移転スケジュールを決定し移転した。	
	・道路・橋梁	定期点	検調査(24 橋) ——— →	橋梁修繕工事		・義務化された5年に1回の橋梁定期点検、24橋を実施 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁2橋の修繕工事を実施	
	・連路・橋架(建設課)		道路付属加	起設点検調査	舗装改良工事 →	・耐用年数20年設計での道路舗装改修(「小室山線」、「惣堂坂線」)・道路ストック総点検	
	\ X± □ 又 □ 不 /		道路付属加	設点検調査			



	実施項目		実績
		評 価_	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	サマーレビュ ー・財政協議で	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	(サマーレビュー)
	の調整	②計画どおり進捗している	・事務事業の見直しの中で歳入見直し(財源確保)調書の様式を一部変更し、使用料等の見直しを検討
		③計画より遅れている	
		評 価_	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	基礎情報の収集	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・各課が起案する支出伝票の摘要欄に当該資産の情報を詳細に記載するよう指導することにより、資産台帳更新
	圣诞用刊仍找来	②計画どおり進捗している	の迅速化を図る。
		_③計画より遅れている	
	A # TT	評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	庁舎管理 (庶務課)	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・庁舎設備管理業者との密な連携により庁舎本体や各種設備機器の現状を的確に把握し、設備機器の修繕・更新
	(Mit 32) [A.]	②計画どおり進捗している	や雨漏り対策等について庁舎維持管理計画(案)の策定を進める。
亚		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
平 成 実績 年度	・美化センター	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・関係法令に係る許認可の取得後、8月から新2号炉の建設に着工した。
24 実 績	(環境課)	②計画どおり進捗している	・建設工事の進捗については、計画どおりである。(平成24年度末現在 進捗率9%)
度			
		評 価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・東松原連絡所	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・東松原連絡所(市民課) 移転候補地の土地・建物の所有者の状況を確認した。
	(市民課)	②計画どおり進捗している	
	・高齢者福祉施	評 価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・老人憩の家については、耐震診断を行うこととした。
	設	実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している	・老人思い家については、耐震診断で11 プロログログに ・養護老人ホームについては、民営化等今後のあり方について研究を行った。
	(高齢者福祉課)	③計画より遅れている	・保健福祉センター(老人福祉施設)については、移転建替えについての検討を行った。
		評価	
	・道路・橋梁	実施「①計画以上に進捗している」	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
		文元 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している	・平成 25 年 3 月に当初計画した重要橋梁 33 橋に 1 橋加え、34 橋の橋梁長寿命化修繕計画を策定
	(建設課)	③計画より遅れている	・当初計画した橋梁修繕概略設計を省略
		Lendo Venoco.	・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、平成 24 年度事業(繰越)として詳細設計 6 橋及び橋梁修繕工事 1 橋を実施

		評 価 _	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・市営住宅	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・現ストック総合改善事業(H23~H27)を計画とおりに実施する。
	(建築住宅課)	②計画どおり進捗している	・市営住宅長寿命化計画(H25~H34)策定が完了したので、ストック総合改善事業への反映および事業完
		③計画より遅れている	了後の計画・精査・実施を行う。
			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
			・駅前広場の整備
		評価	交通事業者と協議して整備方針を確認した。今後、地元協議を行い計画案を作成し検討委員会で調整を図る。
	・市街地再開発	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・駅前広場隣接地区
17	(都市計画課)	②計画どおり進捗している	再開発等の制度活用について調査・検討した。今後、地権者と意見調整を行い駅前街区にふさわしい計画を策
成山		③計画より遅れている	定する。
24 実			・駅周辺地区
平成24年度 実績			地権者参加を促す広報活動において、多くの市民を対象とした先進都市の事例紹介の講演を観光会館で行った。
		評 価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・水道施設	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・幹線管路(口径 150 mm以上)のうち約 70%が未耐震化であり、経年により今後さらに対象が増加していく。
	(水道課)	②計画どおり進捗している	・料金収入が落ち込んでいるため、財源不足により計画通りに耐震化が進められない可能性がある。
		_③計画より遅れている	
		評 価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	• 学校施設	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	小中学校施設で国基準未達成の最後の施設である西小学校屋内運動場については、平成 24 年度の調査検討に
	(教育総務課)	②計画どおり進捗している	より耐震化方針が改築に決定したため、次年度は設計を実施していく。小中学校施設の早期の耐震化完了を目指
		③計画より遅れている	し、前倒し可能なところは前倒しして実施していく。

	実施項目		実績
		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	サマーレビュ ー・財政協議で	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・サマーレビューを通じて、ファシリティマネジメントの考え方も踏まえた各課所管施設の見直しを実施する。
	の調整	②計画どおり進捗している ③計画より遅れている	
		評 価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
		『『	・資産の取得や除却等異動情報の把握方法について検討し、常に最新の情報を反映した財産台帳の整備に努める。
	基礎情報の収集	②計画どおり進捗している	
		③計画より遅れている	
		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・庁舎管理 (庶務課)	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・庁舎設備管理業者と連携し、今後5年以内または10年以内に修繕が必要な設備及び費用の調査を行った。
	(点对)	②計画どおり進捗している	・より適切な維持管理計画を策定するため、建設部や専門的知識を持つ事業者と協議していく必要がある。
平		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
成実	・美化センター (環境課)	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・平成23年度から実施している更新改良整備工事は、平成25年度末時点で、進捗率54.0%で計画通り進
平成 実績 年度		②計画どおり進捗している	
度		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
		評 価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・東松原連絡所 (市民課)	実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している	・移転のための費用算出を行った。 ・移転先には、ふれあいセンターを候補のひとつとして、移転にかかる費用を算出。
	(1) 20 (1)	③計画とおり遅れている	・ふれあいセンター担当課等と協議した。
		評 価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	│ │ • 高齢者福祉施設	・・・・ 実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・老人憩の家「城ヶ崎荘」は耐震診断の結果を踏まえ、老朽化した施設のリニューアル工事を実施する。
	(高齢者福祉課)	②計画どおり進捗している	・指定管理期間が満了となる施設について、今後のあり方を踏まえて、新たな指定管理者の指定手続きを進める。
		③計画より遅れている	・新保健福祉施設整備基本構想に基づき、所要の調査を行い、設計業務に着手する。
		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	 ・道路・橋梁	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、詳細設計を9橋及び修繕工事を1橋実施。
	・追路・偏楽 (建設課)	(2)計画どおり進捗している	・道路施設長寿命化事業を執行するにあたり、路面性状調査を実施。
		┃ ③計画より遅れている	・市道1・2級幹線10m未満の橋梁点検を実施したが、今後、その他の橋梁においても実施して行く必要があ
			ర ం

		評 価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・市営住宅	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・老朽化に伴う修繕費用の増加が懸念される、特に給排水設備等は、日常生活に直接支障をきたすため、事前に
	(建築住宅課)	②計画どおり進捗している	修繕する必要があると考えられる。
		_3計画より遅れている	
			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
			・駅前広場と道路の整備について、計画資料を作成し関係者と協議を行い計画の進捗を図る。
	・市街地再開発	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・A地区は平成25年7月に再開発準備組合を解散したが、引き続き地権者と街区整備について協議を行う。
亚	(都市計画課)	②計画どおり進捗している	・駅周辺地区の地権者に対して、継続して先進都市の事例を紹介し再開発等の整備について理解を深めてもらう。
成実		③計画より遅れている	
平 成 実 (年 度		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
度		実施「①計画以上に進捗している	・当初の計画では、道路改良工事等の他の工事施工に合わせて幹線管路の耐震化工事を施工する予定であったが、
	・水道施設 (水道課)	②計画どおり進捗している	他の工事が一部施工されなかったため、耐震化工事施工延長が638mに留まった。
	(水色味)	③計画より遅れている	・次年度以降に1㎞以上の延長工事をすることで、当初の目標を達成させたい。(平成 25 年度~27 年度で3㎞
			以上の施工)
	W 11 16-5	評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・学校施設 (教育総務課)	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	小中学校施設で国基準未達成の最後の施設である西小学校屋内運動場について、平成 25 年度に基本・実施設
	(张月心伤味)	②計画どおり進捗している	計を完了し、第4四半期には解体工事に取り掛かった。H26年度は解体工事を完了し、改築工事を実施する。年
		_3計画より遅れている	度末までには耐震化が完了する予定である。

	実施項目		実績
	サマーレビュ	評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	一・財政協議で	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・26 年度のサマーレビューで検討することができなったが、27 年度に財政課が公共施設管理計画を策定する際
	の調整	②計画どおり進捗している	に、必要があればサマーレビューで調整を進める。
	(行政経営課)	③計画より遅れている	
		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	基礎情報の収集	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・資産の取得や除却等異動情報の把握方法について検討し、常に最新の情報を反映した財産台帳の整備に努める。
	(財政課)	②計画どおり進捗している	
		_③計画より遅れている	
		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・庁舎管理	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・庁舎設備管理業者と連携し、今後5年以内又は10年以内に修繕が必要な設備及び費用の調査を行った。
	(庶務課)	②計画どおり進捗している	・中長期的な庁舎の保全計画を策定するため、建設部や財政課等の庁内関係部署、施工業者や庁舎管理業者と協
		_③計画より遅れている	議を行う必要がある。
TV.		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
成上	・美化センター	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・平成27年3月に「環境美化センター更新改良整備工事」が予定とおり完成し、新焼却炉によるごみ焼却を開
26 実	(環境課)	②計画どおり進捗している	始した。
平成 26 年度		_③計画より遅れている	・排ガス等の法規制値を遵守し、施設の長寿命化及び維持管理費の節減を目的に適正な運転を行う。
~		評 価 _	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・東松原連絡所	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・ふれあいセンターへの移転費用等の算出を行う。
	(市民課)	②計画どおり進捗している	
		③計画より遅れている	
		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	▪ 高齢者福祉施設	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・新保健福祉施設は、測量及びボーリング調査を実施し、早期完成に向けて設計業務に取り組んでいる。
	(高齢者福祉課)	②計画どおり進捗している	・城ヶ崎荘は、指定管理者の更新や、内装改修及び外装塗装等のリニューアル工事を実施した。
		_③計画より遅れている	・養護老人ホームは、指定管理者を更新した。引き続き、今後の施設のあり方について研究を進めていく。
		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・道路・橋梁	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・橋梁長寿命化修繕工事と合わせて、耐震工事も実施するため工事費が増加となる。
	(建設課)	②計画どおり進捗している	・道路施設長寿命化事業を執行するにあたり、路面性状調査を基に修繕計画を策定。
	(<u>\</u>	_③計画より遅れている	・橋梁定期点検が道路法の改正により、全橋を5年に1回、近接目視が義務付けられた。
			・通学路合同点検結果に基づき、対策箇所を整備する予定。

		評価	_		次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
	・市営住宅	実施	①計画以上に進捗している	未実施	・「伊東市市営住宅長寿命化計画」に沿って建築本体を中心とした改修工事を実施しているが、同時に給排水設				
	(建築住宅課)		②計画どおり進捗している		備の老朽化に伴う修繕工事が必要である。				
			_③計画より遅れている						
		評価	_		次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
	・市街地再開発	実施	①計画以上に進捗している	未実施	・駅前広場及び広場に隣接する都市計画道路の整備について基本計画をまとめ、関係者と協議を進めることで計				
平	(都市計画課)		②計画どおり進捗している		画の進捗を図る。				
平 成 実績 年度			③計画より遅れている		・街区整備に関しては、引き続き地権者と協議を進めていく。				
年 積		評価			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
度	・水道施設	実施	①計画以上に進捗している	未実施	・配水系統の見直し等により26年度末現在では1.5km/2年の施工実績に留まってしまっているが、27				
	(水道課)		②計画どおり進捗している		年度において幹線管路耐震化工事として約1.6kmの工事施工を予定しているため、当初の3km/3年の				
			③計画より遅れている		目標を達成できる見込みである。				
		評価			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
	• 学校施設	実施	①計画以上に進捗している	未実施	・小中学校施設で国基準未達成の最後の施設である西小学校屋内運動場について、平成 26 年度第 1 四半期に解				
	(教育総務課)		②計画どおり進捗している		体工事を完了し、平成 27 年 3 月には改築工事が完了した。これにより市内全ての小中学校施設で国基準の耐				
			_③計画より遅れている		震化が完了したため、平成 27 年度以降は非構造部材の耐震化を図る予定である。				

	実施項目	実績							
	サマーレビュ	評価			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
	一・財政協議で	実施	- ①計画以上に進捗している	未実施	・財政課において策定した伊東市公共施設等総合管理計画については、策定に当たりサマーレビューを通じても				
	の調整		②計画どおり進捗している		協議を行った。				
	(行政経営課)		_③計画より遅れている						
	_ \	評価	_		次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
	• ファシリティマネジメン	実施	①計画以上に進捗している	未実施	• FMに対する取組状況が県内各市町ごとに異なっているため、先進市町はもとより、主に本市と類似した状況				
	ト(FM)研究会参加(財政課)		②計画どおり進捗している		の市町と積極的に意見交換を行い、取組方法等を研究していく。				
	加(别以珠)		_③計画より遅れている		FM研究会で得た情報を各施設所管課に提供し、FMの取組を推進していく。				
	- 八井坑乳竿纵	評価	_		次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
	·公共施設等総 合管理計画策定	実施	①計画以上に進捗している	未実施	伊東市公共施設等総合管理計画に沿った公共施設等の整備や維持管理を推進し、各施設所管課が個別施設計画				
	(財政課)		②計画どおり進捗している		等を策定する場合は、同計画との整合性に留意するよう指示していく。				
	(知以味)		_③計画より遅れている		・同計画は、歳入減や国の制度改正等により適宜見直しを行うこととしているため、その必要性を随時検討する。				
_		評価			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
 成	• 庁舎管理	実施	①計画以上に進捗している	未実施	・庁舎設備管理業者と連携し、今後5年以内又は10年以内に修繕が必要な設備及び費用の更新調査を行った。				
27 実績	(庶務課)		②計画どおり進捗している		・中長期的な庁舎の保全に向け、建設部や財政課等の庁舎関係部署、施工業者や庁舎管理業者と協議を行う必要				
平成 実績 年度			_③計画より遅れている		がある。				
及	・環境美化セン	評価	_	未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
	ター焼却炉 (環境課)	実施	①計画以上に進捗している		・排ガス規制値を遵守し、能力に適したごみ焼却を継続する。				
	・リサイクル施		②計画どおり進捗している		・施設の長寿命化を目的とした、整備計画の検討を始める。				
	設(環境課)	L	_③計画より遅れている						
		評価			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
	・東松原連絡所 (市民課)	実施	①計画以上に進捗している	未実施	・移転先を検討し、移転場所を「ふれあいセンター1階」に決定した。				
			②計画どおり進捗している		・名称を松原連絡所とし、平成 28 年 1 月 12 日に開所した。				
		L	_③計画より遅れている						
		評価			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等				
	・道路・橋梁	実施	①計画以上に進捗している	未実施	・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕工事を2橋実施。(いでゆ橋、通学橋)				
	(建設課)		②計画どおり進捗している	小大心	・道路施設長寿命化修繕計画に基づき、修繕工事を2路線実施。(惣堂坂線、小室山線)				
		L	_③計画より遅れている		・橋梁定期点検において、国から平成 28 年度末までに 1 順目の点検を 60%以上実施するように依頼があった。				
					・通学路合同点検結果に基づき、整備工事を2路線実施。(泉・城星線、広野・宮川線)				

		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・市営住宅	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・「伊東市市営住宅長寿命化計画」に沿って建築本体を中心とした改修工事を実施している。
	(建築住宅課)	②計画どおり進捗している	しかし、給排水設備の老朽化に伴う修繕工事も必要であるが、入居中の工事は生活に支障をきたすため、退去
		 ③計画より遅れている	後の空家について個々に対応しているのが現状である。
-		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	・市街地再開発	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・駅前広場及び広場に隣接する都市計画道路の整備については、引き続き関係者並びに地権者と協議を進めるこ
	(都市計画課)	②計画どおり進捗している	とで計画の進捗を図る。
		③計画より遅れている	
-		評価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	保健福祉センター	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・健康福祉センターについては、できる限り早期の開設を目指す。
	(高齢者福祉課)	②計画どおり進捗している	・健康福祉センターについては、指定管理者による管理の方法を検討し、選定を進める。
_		③計画より遅れている	・現施設(保健福祉センター)の今後のあり方や管理方法等について引き続き検討する。
平 成 実 集 度		評 価_	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
27 実	・シニアプラザ	実施 ①計画以上に進捗している 未実施	・健康福祉センター建設に伴い、廃止・解体したシニアプラザ桜木の利用者については、開設までの間の代替施
年常	(高齢者福祉課)	②計画どおり進捗している	設として伊東幼稚園湯川分園を使用することにより、活動の場を確保した。
及		_3計画より遅れている	・シニアプラザ(湯川・くすみ)については、指定期間満了となることから、次期指定管理者の選定を進める。
		評 価	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
		実施 ①計画以上に進捗している	・施工箇所の変更等により幹線管路耐震化施工延長は1,260mとなり、1 km/年の単年度目標は達成したが、平成
	・水道施設	②計画どおり進捗している 未実施	25 年度~27 年度の施工実績は 2.8 km/3 年と、3 km/3 年の目標に届かなかった。
	(水道課)	③計画より遅れている	・財政状況を勘案しつつ、平成 28 年度以降も 1 km/年を進捗目標として幹線管路耐震化を実施していく。
			・評価を計画より遅れているとしているが、平成 28 年度から平成 32 年度を取組期間とする新たな伊東市公共経
			営改革大綱に基づき、引き続き取り組んでいく。
-		評 価 _	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等
	. 学技佐凯	実施 ①計画以上に進捗している	・南中学校武道場及び宇佐美中学校屋内プールに設置されている吊り天井の落下防止対策工事が完了した。これ
	学校施設(数套%發理)	ま実施 ②計画どおり進捗している	により市内全ての小中学校施設での大規模空間における吊り天井の落下防止対策が完了した。また、避難所や
	(教育総務課)	③計画より遅れている	広域避難場所となっている屋内運動場の窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼付も完了した。平成28年度は児
			童・生徒を含む不特定多数が日常的に生活している校舎の窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼付を実施する。

						全	体 計	画				
戦	略	4市民満足度と財政健全化の両立を目指す方策の展開						方 策	(6)市が出資・助成する団体の改革			
取組事項 ①活動の目的、内容、財政基盤等の検証 ②支援等の見直し							所管課	行政経営課				
事業0	・市が出資・助成する団体へのさらなる経営改善や意識改革等への取組みについて指導を行い、組織の強化、経営改革・経営健全化を促進する。 ・適正な事業実施先及び費用対効果の検証を行い、市民サービスの向上と財政支出の抑制を図る。					営改革・経営健全化	を促	目的達成に 向けた手段	・行政経営課、所管課、団体の3者協議の実施 (PDCAサイクルに基づく運営、収益を重視した自主事業の実施、中期経営計画の策定等、経営改革・経営健全化に関する指導)			
			平成 24 年度		平成 25 年度			平成 26 年度 平成		平成 27 年度		
全体	計画	ヒアリング・改善指導			継続実施 ━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━			継続実施 継続実施 →		継続実施		
				年度	計画							
	実	施項目	第1四半期	第2	四半期	第3四半期	第4	四半期	大心とする			
21		ヒアリング・ 指導の実施			ヒアリング・改善指導			•	・市が出資・助成する団体の所管課と問題点・改善点を協議			
平成 24 年度 24 年度	予算~	算への反映			予算調整				・指定管理施設等については、指定方法等の問題点・改善点を確認			
年 実 績	評価 実施					次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・市が出資する財団法人伊東市振興公社の施設管理の現状・問題点等についての調査を行った。						

			年度記	中族内容					
	実施項目	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期	実施内容		
計平画成	ヒアリング・ 指導の実施 予算への反映		ヒアリング	グ・改善指導 予算調整			・市が出資・助成する団体の所管課と問題点・改善点について引き続き協議・指定管理施設等については、平成26年3月31日をもって指定管理期間が満了する施設における現状の管理の問題点について確認		
平成25年度 実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている		未実施		向けた課題・改善点 レビュー以外におい [・]	した上で、指定管理者を決定した。 点・改善点について、協議できるよう進める。			
平 画 成 36	ヒアリング・ 指導の実施 予算への反映		ヒアリング	・改善指導		□調整	・サマーレビュー等を通じて、市が出資・助成する団体の所管課と 問題点・改善点について引き続き協議		
平成 26 · 実績	評価 実施 ①計画以上 ②計画どよ ③計画より	未実施	次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・引き続き、所管課と協議、検証を行う。						
計平面成	ヒアリング・ 指導の実施予算への反映		ヒアリング・改善指導		予算	□■■	・サマーレビュー等を通じて、市が出資・助成する団体の所管課と 問題点・改善点について引き続き協議		
平成 27 · 実績	評価 実施 ①計画以上に進捗している 未実施 ②計画どおり進捗している ③計画より遅れている			次年度に向けた課題・改善点・修正事項等 ・引き続き、所管課と協議、検証を行う。					